

日本NGO連携無償資金協力
農業開発によるミャンマー少数民族の所得創出支援プロジェクト
(第2期)

補足資料

・ 第2期事業総評	1
・ ベース・プロジェクト	
1. 生産分野（農業生産物の生産と加工、施設の維持運営活動）	3
1-1. 有機農作物・農業加工品の生産、畜産活動細評	
1-2. 事業評価会議細評	
2. 教育分野（農業技術の技術普及員の育成）	14
2-1. 6ヶ月研修細評	
2-2. 短期農業研修細評	
2-3. 指導者研修（TOT）細評	
3. 収入向上研究分野（市場開拓と付加価値向上）	26
3-1, 2. 市場開拓・付加価値向上活動細評	
農業生産品別細評	
・ サテライト・プロジェクト	
4. コミュニティー開発分野（地域開発とネットワーク構築）	38
4-1. 僻地開発活動細評	
4-2. 僻地農業研修細評	
4-2-1. 州政府との共同農業研修	
4-2-2. 少数民族地域での農業研修	
4-3. シードバンク細評	
4-4. 市場供給の基盤整備細評	
4-4-1. マーケティングセンター整備	
4-4-2. 共同販売ネットワーク試験導入	

日本NGO連携無償資金協力

農業開発によるミャンマー少数民族の所得創出支援プロジェクト（第2期）

事業総評

【活動実施体制】

事業実施団体： 特定非営利活動法人グレートメコンセンター（NPO-Greater Mekong Center）

現地提携団体：（ミャンマー側） Greater Mekong Subregion Agriculture and Education Development Center
（タイ側） Thai Japan Education Development Foundation

パートナーシップ： 公益財団法人 日本財団（The Nippon Foundation）

カウンターパート： ミャンマー連邦カレン州農業畜産灌漑省（Ministry of Agriculture, Livestock, Irrigation, Kayin state）
カレン民族同盟（Karen National Union）

カレン民族同盟・民族解放軍平和評議会（Karen National Union/Karen National Liberation Army Peace Council）

レーケーコー環境保全農場（Lay Kay Kaw Ecological Farm）

ティーワープラオ委員会（Hti War Plaw Committee）

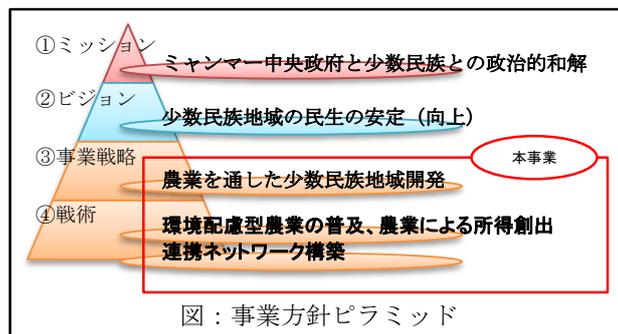
カレン農業省（Karen Agriculture Department）

【事業の必要性と課題への挑戦】

本事業は「少数民族との国民和解に向けた日本政府の支援」実施事業である。国民和解にむけて本団体が認識する問題点と克服すべき課題は以下の通り。

- ・ 少数民族地域は政府支配地域と比較して貧しい
- ・ しかも少数民族地域全般に貧困が蔓延している
- ・ 中央政府の支援がなく国際機関の支援活動の機会も乏しい

従って、本団体は数少ない国際機関の支援活動の一環として少数民族地域の貧困脱却、民生の安定向上を通じて国民和解、平和構築に貢献することを目的として活動する。



本事業では、外務省のN連事業による資金援助を受け、下記の理由に基づき、農業を通じた少数民族地域開発を行う。本団体はミャンマー連邦カレン州農業畜産灌漑省と少数民族農業団体の両者とMOUを交わしている。またタイ国のインフラを活用し、事業を実施しており、タイ国外務省とタイ軍国境警備隊の承認も受けている。

- ・ ミャンマー政府は農畜産業の生産性向上と農村経済の発展による貧困削減を重要課題として掲げている。
- ・ 少数民族地域では、農業が唯一の産業である

なお農業開発の考え方は以下の通りで、次項で具体的な事業内容と活動の関係性を記載する。

A. 環境配慮型農業の普及

- ・ 自給自足型の農業という現状から投資抑制型（農薬・化学肥料を使わない）農業技術支援が最適である
- ・ 少数民族自身が自然環境を守る、環境負荷の小さな農業技術の普及を望んでいる

B. 農業による所得創出や生活水準の向上

- ・ 換金性の高い作物を普及する。自給自足の余剰分を増やし安定的な所得に繋げる
- ・ 土質/水質調査、適切な施肥/水管理などを行い、地域に適する農業栽培方法を見出し、品質改善、収量増加を図る

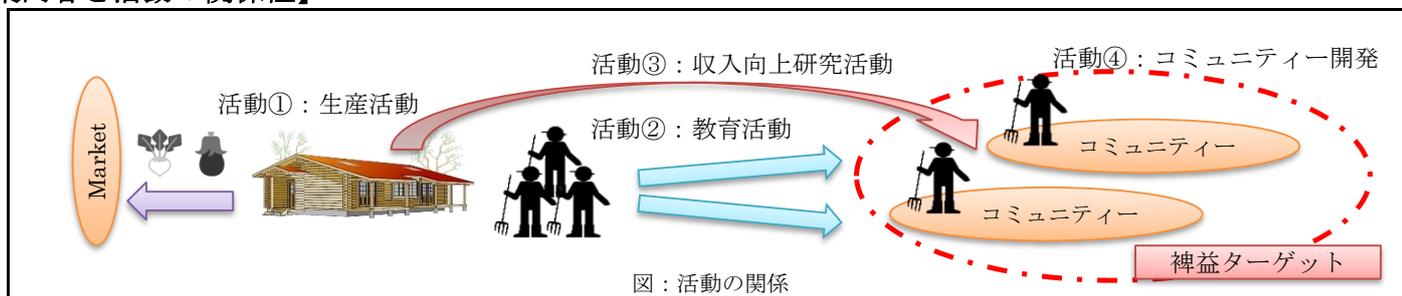
C. 連携ネットワークの構築

- ・ 行政機関と少数民族団体との連携を深め、地域間でサービスを共有できる仕組みをつくる
- ・ 地域ブランドや販売ネットワークを立ち上げ地域一体型の相互扶助の仕組みをつくる

日本NGO連携無償資金協力

農業開発によるミャンマー少数民族の所得創出支援プロジェクト（第2期）

【事業内容と活動の関係性】



裨益ターゲットは少数民族地域支援の末端にある僻地コミュニティーである。**活動④：コミュニティー開発**を目指しサテライト・プロジェクトを推進する。**活動①：生産活動、活動②：教育活動③：収入向上研究活動**の3活動をベース・プロジェクトで実施して、サテライト・プロジェクトを支える。

① 生産活動（農業生産物の生産と加工、施設の維持運営活動）

- ・拠点を維持するための資金確保の手段の一つとして、農業生産物の生産や加工を行う
- ・少数民族農業団体のスタッフに対し、施設や農場を運営する能力の強化を行う

② 教育分野（農業技術の技術普及員の育成）

- ・少数民族地域全般の裨益者数を増やすため、ベースプロジェクトで先ず農業技術を普及する人材を教育する。教育された人材の活動をフォローアップするためサテライトプロジェクトを行う。
- ・少数民族自身で農業開発を遂行できるように少数民族農業団体に人材育成の機能を教える。

③ 収入向上研究分野（市場開拓と付加価値向上）

- ・コミュニティーに普及していくため、拠点で換金作物の作付実験等を実施する
- ・少数民族地域と外部社会を繋ぐ窓口の役割を果たす

【目標の達成度】

ベース・プロジェクト

1. 生産分野（農業生産物の生産と加工、施設の維持運営活動）：計画通り達成

- ・当団体職員、農業専門家の指導のもと、農業専門家補佐とカウンターパート職員主体で活動を実施できた
- 指標外成果：新しい作物への挑戦と一部地域での新たな収入源の創出

2. 教育分野（農業技術の技術普及員の育成）：計画以上に達成

- ・長期研修目標達成度：116% ・短期研修目標達成度：117%（生活向上の技術取得）

指標外成果：カレン州政府・少数民族間での共同研修や人材交流

3. 収入向上研究分野（市場開拓と付加価値向上）：計画以上に達成

- ・新規の市場開拓に成功、可能性のある作物の試験的栽培の実施
- ・メディアを駆使した事業や農業生産物の認知活動、日系企業や国際NGOへの商品の販売促進

サテライト・プロジェクト

4. コミュニティー開発分野（地域開発とネットワーク構築）：計画以上に達成

- ・僻地開発目標達成度：160%（参加者の生活向上）

指標外成果：難民帰還民への農業知識・技術の提供。栽培意識の変化（冬野菜栽培の初挑戦）。作付実験を成功した作物の普及。有機肥料や土質改良による収量・品質の向上、栽培費用の削減。研修による肥料の品質向上

- ・ ベース・プロジェクト

1. 生産分野（農業生産物の生産と加工、施設の維持運営活動）

- 1-1. 有機農作物・農業加工品の生産、畜産活動細評

- 1-2. 事業評価活動細評

- ・ DAC評価

1.1. 有機農作物・農業加工品の生産、畜産活動細評

【活動概要】

目的： 農業改良普及所がミャンマー少数民族支配地域における農業教育や研究の集積地として運営自立化し、生み出される活動成果がミャンマー少数民族支配地域へと展開される。

- 生産活動： ①農業生産物（有機農作物、繊維系換金作物、高換金作物）
 ②農業加工品（製紙、製糸、食品加工）
 ③畜産（豚・アヒルの繁殖、魚の養殖）

【活動成果】

レーケーコー： ボカシ（有機肥料）、コンニャク芋、養鶏、菌床栽培、マンゴー（セイントロン種）

ティーワープラオ： コンニャク芋、畜産（豚、山羊など）、養鶏、養魚、ココナッツ、米（シントゥーカ種）

ニャリアタ・メーサリット： ボカシ（有機肥料）、ごま油、養魚、養鶏

属性	写真	生産物	生産地
		成果内容	
		販売価格	市場開拓先
		その他	
市場開拓済		ボカシ（有機肥料）	Lay Kay Kaw
		循環型農畜産業を普及する為、有機肥料の生産販売を実施。ミャンマー国内の販売のための行政手続きを完了した。商標登録プロセスを経ることで、商材ステータス向上し販路開拓を目指している。	
		17THB/kg	在シャン州NGO、LKK住民
		生産者登録、販売許可取得（肥料法に基づく） 成分分析：実施済み	
市場開拓済		乾燥こんにゃく	Lay Kay Kaw・Hti War Plaw
		在ヤンゴンの日系企業と連携し、加工生産を実施。地域で自生、栽培していたコンニャク芋を、加工による付加価値を付け、新たな農産業を興すきっかけを提供することができた。	
		8,500MMK/kg	在ヤンゴン日系企業
		成分分析：申請中	
市場開拓済		養鶏	Lay Kay Kaw
		帰還難民の経済的自立支援を将来に据え、養鶏による雛鳥の孵化を実施。2019年5月をターゲットに、帰還難民へ市場価格より安価に雛鳥を提供し、養鶏による畜産活動を支援する	
		35THB	LKK住民
市場開拓済		菌床栽培	Lay Kay Kaw
		帰還難民の経済的自立支援を将来に据え、菌床を生産。モデル農場でも菌床栽培を実施し、地域内にて小規模ながら販路拡大ができています	
		50THB	LKK住民
市場開拓中		マンゴー（セイントロン種）	Lay Kay Kaw
		カレン州農業畜産灌漑省農業局がミャンマー固有品種マンゴー苗の調達を協力することで、モデル農場での栽培が始まった。収穫は先であるが、市場需要が高いことを見込んでいる	
		市場開拓中	
市場開拓済		畜産（豚）	Hti War Plaw
		CPグループを御先として生産。2018年の販売実績は、2.5tを5,000,000MMKで販売した。	
		2,000MMK/kg	CPグループ

1.1. 有機農作物・農業加工品の生産、畜産活動細評

市場開拓済		養鶏	Hti War Plaw
		<p>通年通して農場の生計を立てる品目となっている。雨季から乾季の季節の代わり目に生産量が減ってしまう等、畜産管理能力を改善すべき部分が明確になった。</p>	
		2700MMK/30eggs	HWP住民
市場開拓済		養魚	Hti War Plaw
		<p>当事業にて5つの養魚用池を増築。計7つの池にて、50kg相当の養魚生産し、ローカル市場へ販売した。養魚期間は、4~6ヵ月</p>	
		2,500MMK/kg	ミャワディー業者
市場開拓中		ココナッツ (タイ品種)	Hti War Plaw
		<p>ミャンマー市場でタイ輸入品が多い、タイ品種ココナッツの栽培を開始。ミャンマー品種より高品質と言われるタイ品種を栽培し、市場開拓を目指す</p>	
		市場開拓中	
市場開拓中		米 (シントウカ種)	Hti War Plaw
		<p>連邦政府農業省が現地視察後、政府が推奨する良質米の栽培を決定。州首相からGMCへ、200Acre分の種子支給の要望があり、Hti War Plaw農場が主導となり、周辺農民の稲作支援を実施した。</p>	
		市場開拓中	
市場開拓済		ボカシ (有機肥料)	Nyaliatha
		<p>循環型農畜産業を普及する為、有機肥料の生産販売を実施。ミャンマー国内の販売のための行政手続きを完了した。商標登録プロセスを経ることで、商材ステータス向上し販路開拓を目指している。</p>	
		17THB/kg	在シヤン州NGO
		生産者登録、販売許可取得 (肥料法に基づく) 成分分析：実施済み	
市場開拓済		ごま油	Nyaliatha
		<p>タイ市場によく流通しているごま油を参考に試作品を作り、マーケット開拓を実施。ごま原料は、弊団体が僻地開発を実施しているカレン州村々から調達した</p>	
		450THB/l	タイ国内ネット通販
市場開拓済		養鶏	Nyaliatha
		<p>鶏卵が通年通して生産から販売をできる品目となっている。また付加価値を付けることを目的に、卵の熟成 (発酵) 加工生産にも取り組んだ</p>	
		25THB/3eggs	地域市場
市場開拓済		養魚	Nyaliatha
		<p>ODA資金にて5つの養魚用池を増築。計7つの池にて養魚展開し、ローカル市場へ販売した。</p>	
		55THB/kg	地域市場
生産実験中		ソルガム	Nyaliatha、Hti War Plaw
		<p>在バンコクの日系企業と連携し、実験栽培を開始。東京大学、名古屋大学、東京農工大学が共同で開発したゲノム品種。発電用バイオ燃料や家畜用飼料等の用途があり、実験栽培中</p>	
		50,000MMK/tonで交渉中	交渉中 (ヤンゴンの畜産農家)
		生産者登録申請調整中 (種子法に基づく) 成分分析：実施済み	

1.2.事業評価活動細評

【活動概要】

- 本事業の進捗や成果を関係団体と共有することで、事業の運営についての州政府・EAOからの事業運営の評価を確認する。
- 目的：特に、本事業は内戦後の両者の和解と、国民融和に向けての共同事業である、という位置付けから、微妙な関係性の中で事業の成果（平和の果実）を最大限に出すために、両者の意思確認と連携に向けた意思統一を明確にすることを目的とした。
- 活動：四半期に一度開催したWorking Group Meetingと、関係各所との個別ミーティングを行うことで、コンセンサスと意思確認を行った
- 主な成果：GMCの実施した活動により、連邦政府からカレン州内の村への個別支援（前例なし）の実現に至った
連邦政府からの注目を受けたことにより、州政府からの積極的な事業への協力に至った
本事業が州政府首相からも注目され、7月以降、個別での指示や状況報告の依頼の頻度が増した（DoA局長を通して）
2018年、カレン州の発展に寄与した団体が表彰され、10団体のうち初めにGMCが表彰状を授与された
本事業は州政府とEAOの国民融和に向けた共同事業であり、州政府内他部署から活動の参考に職員が視察に訪れるものとなっている

成果写真

		
州政府首相との事業評価会議、及び次期事業署名式	カレン州記念日での表彰状	カレン州記念日での記念機関誌のGMC記事

【活動成果】

LKK: Lay Kay Kaw Ecological Farm, HWP: Hti War Plaw Committee
DoA: Department of Agriculture, Kayin state, KAD: Karen Agriculture Department

番号	会議	評価者/会議参加者	内容	備考	実施日
	第1回WG会議	LKK, HWP, DoA, KAD	本事業開始前準備会議		11/14,15
1	第2回WG会議	LKK, HWP, DoA, KAD, DoRD	施設建設開始に向けての事前調整と注意事項の共有	一部施設建設を担当するDepartment of Regional Developmentも参加	12/27
	事業キックオフセレモニー	LKK, HWP, DoA, KSG	本事業の初回研修時に、事業開始を祝したセレモニーを開催	U Than Naing 州財務企画開発大臣のスピーチ	1/26
2	第1四半期評価会議	KNU	KSGとEAOの共同事業の進め方について、現状の報告とEAOの希望をヒアリング	Yan Naing少佐	2/25
3	第3回WG会議	LKK, HWP, DoA, KAD	各地の事業進捗を共有。特に全地域の建設進捗関連について意見交換。 また次年度事業計画について協議を実施		3/14,15
	連邦政府農業大臣によるモニタリング	DoA	DoAワークショップ開催地（War Sue村）へAung Thu連邦農業大臣が視察に訪問	大臣より「州政府農業省と共同事業を実施していることに感謝と今後への期待」の言葉を頂戴した このモニタリングにて、3つの村にトラクターが寄付されることとなった。連邦政府から村への直接的な物資支援は初めてのケースで異例の支援にはGMCのワークショップが貢献した	4/20,21
	DoAによる現地モニタリング	DoA	農業局長が4月26日にLKK, HWPの事業地モニタリングを実施（州首相の指示）。メディア団を連れて訪問	連邦大臣訪問のフォロー	4/25,26
4	第4回WG会議	LKK, HWP, DoA, KAD	これまでの事業進捗の報告、及び来年度の事業計画について協議。 LKK, HWP事業地のモニタリングも併せて実施	これまでの活動を評し、州首相からGMCの実務担当スタッフとの面談希望あり、との連絡	5/2,3
5	事業中間評価会議	KNU少佐、LKK委員会幹事長	これまでの事業報告と、来期の事業実施に向けての計画案、実施方法等のシェア。 事業合意書への署名	「これまでの事業に実施方法含めて、大いに満足している」 Yan Nain少佐 「引き続きLKKの発展のために、GMCの協力を必要としている」 LKK委員会pataya幹事長	7/4
6	事業中間評価会議	KAD代表	これまでの事業報告と、来期の事業実施に向けての計画案、実施方法等のシェア。 事業合意書への署名	「これまで6年間にのぼる、少数民族地域への貢献に心から感謝している」 KAD代表Nay Tablay	7/23
7	第5回WG会議	LKK, HWP, DoA, KAD	事業進捗のシェア。各地の来期事業計画のシェアと他地域からのコンサルティング。 政府・EAOでの共同ロゴ製品の合意	カレン州への豪雨災害のため、26日に予定されていた州政府首相との評価会議が延期。	7/25
8	事業中間評価会議	KNU/KNLA-PC幹事長	これまでの事業報告と、来期の事業実施に向けての計画案、実施方法等のシェア。 事業合意書への署名	KPC地域への国際社会からの支援は久しぶりで、また他国政府資金での支援は初のケースであり、今後とも帰還民、戦争被害者への支援を継続することをお願いしたい	7/26
9	事業中間評価会議	DoA	事業進捗のシェア、及び次年度計画案の再共有	州政府VIPミーティングに向けての事前調整	8/27

1.2.事業評価活動細評

10	事業中間報告	カレン州政府首相、及び農業畜産灌漑大臣	これまでの事業報告と、来期の事業実施に向けての計画案、実施方法等のシェア。 事業合意書への署名	Daw Nan Khin Htwe Myint州政府首相より、半年以上の事業成果について、GMCのカレン州への貢献と政府、EAO間の関係性の構築について、感謝の意を頂く。 U Saw Myint Oo農業畜産灌漑大臣より、これまでの政府・EAOとの共同事業について、労いと感謝の言葉を頂く。同氏による来期事業合意への署名を頂く。	8/27
11	第6回WG会議	LKK, HWP, DoA, KAD	事業進捗のシェア、今後の活動に対する意思統一と連携関係の意思確認 次期事業に対する注意事項の説明		10/27,28
12	表彰式	農業畜産灌漑大臣	2018年度のカレン州の発展に寄与した団体、及び州政府職員の表彰式	農業分野での貢献団体10団体のうち、第一の団体としてGMCが表彰状の授与を受ける。 なお州政府職員Nan Wutyi San女史により、州記念日の広報誌にGMCの活動に関する寄稿文が執筆される。「今後Kayin州は農業による発展に進んでいく段階に突入するが、GMCのようにカレン州と密に開発に従事するような団体の存在が不可欠である」という一文が掲載された	11/7
12	DAC評価アンケート	LKK, HWP, DoA, KAD	年度最終事業評価を実施	LKK, HWP共に満足度の高い結果となった DoAについては、GMCとの連携を更に進めたいという意見を頂く KADについては、GMCに対してではなく、政府に対してEAOの権利や尊厳をもっと尊重するよう意見があった	11/20

カウンターパート事業評価

カウンターパートによる事業評価

実施期間	事業最終月（11月）		
カウンターパート	Lay Kay Kaw Ecological Farm (LKK)	4名	計13名
	Hti War Plaw Committee (HWP)	3名	
	Kayin State Government Department of Agriculture (DoA)	3名	
	Karen Agriculture Department (KAD)	3名	

評価手法：

JICAの中間評価手法に則り、実績の確認と実施プロセスの把握にDAC評価項目を加えた中間評価を行う。ここでDAC評価とは経済協力開発機構（OECD）の開発援助委員会（DAC）が提唱する、開発援助事業の評価基準であり、5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）での評価を行うものである。

【実施プロセスの評価】

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1：悪い）

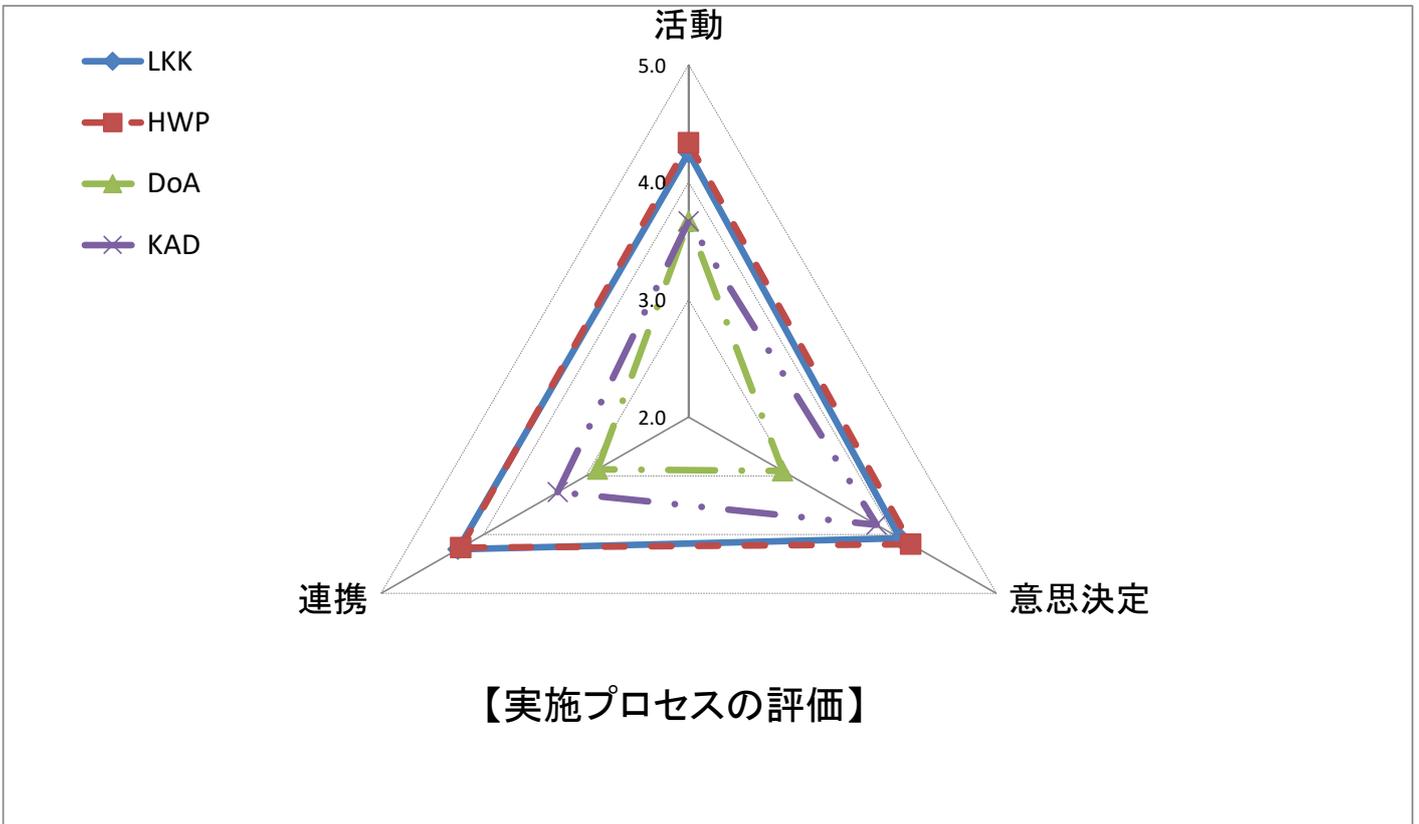
Q	質問内容	LKK	HWP	DoA	KAD	平均
活動について						
1	活動は計画通り（当初の協議での方向性）に進んでいるか	4.0	3.7	2.7	3.0	3.4
2	幣団体の活動に対する認識はあるか（何をしようとしているかなど）	4.3	4.7	4.3	4.0	4.3
3	幣団体の活動に積極的に参加しているか	4.5	5.0	4.3	4.0	4.5
4	幣団体の活動内容について、十分な報告を受けているか	4.3	4.0	3.3	3.7	3.8
意思決定について						
5	活動における、意思決定のプロセス（関係者の選定や手段、進め方）は適切か	4.0	4.0	3.0	3.7	3.7
6	意思決定の際、発言（希望や意見）の機会を持つことができるか	4.0	3.7	2.3	4.0	3.5
7	その発言（希望や意見）は事業に反映されているか	4.0	4.7	3.3	4.0	4.0
8	意思決定後のコンセンサス（共通認識）は十分取れているか	4.3	4.3	3.0	3.7	3.8
連携について						
9	組織間や地域住民との連携の仕組みは十分だと思うか	4.3	4.0	2.3	3.3	3.5
10	農業センター/モデル農場と対象地域コミュニティの連携は十分だと思うか	4.3	4.3	3.0	3.3	3.8
11	農業センター/モデル農場とその連携は十分だと思うか	4.3	4.0	3.3	3.3	3.8
12	農業センター/モデル農場とGMCチェンマイ本部の連携は十分だと思うか	4.5	4.3	2.7	3.0	3.7
13	農業センター/モデル農場と他の事業地との連携は十分だと思うか	4.5	4.3	4.0	3.3	4.1
14	ローカルスタッフの配置（人数、場所）は適切か	3.8	4.3	2.0	3.3	3.4

カウンターパート事業評価

【実施プロセスの評価】 グラフ

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

	LKK	HWP	DoA	KAD	平均
活動	4.3	4.3	3.7	3.7	4.0
意思決定	4.1	4.2	2.9	3.8	3.8
連携	4.3	4.2	2.9	3.3	3.7



記述式質問：実施プロセスについて、満足している点、改善すべき点、やめるべき点

- Special thanks to GMC. And because of training and supporting on agricultural, local villagers got many knowledges.
- Natural farming and knowledges about agriculture was very effective in Htee Wah Plaw area.
- Weak in cooperation each other and no transparency since the project was started.
- The important agendas and informations program should be propose in the meeting and official letter should be shared to the project areas.
- Implemented agricultural at respective project areas but less cooperation with DOA.
- This is not the right time for the ethnic armed organization to cooperate yet.

カウンターパート事業評価

【DAC評価】

① 妥当性

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1：悪い）

必要性		3.8	4.3	2.7	4.3	3.8
15	本プロジェクトは地域のニーズに合致しているか	3.8	4.3	3.3	4.7	4.0
16	本プロジェクトの実施計画を作る際、十分な情報交換が行われたか	3.8	4.3	2.0	4.0	3.5
手段としての適切性		3.8	3.5	3.0	3.4	3.5
17	本事業の実施方法は適切であったか	4.0	4.3	2.3	4.0	3.7
18	本事業を実施するタイミングは適切であったか	3.8	3.0	3.3	3.7	3.5
19	本事業は他ドナーによる事業と協調性があるか	3.5	3.0	3.0	2.0	2.9
20	対象地域の選定は適切であったか	4.0	3.7	3.7	3.0	3.6
21	対象地域以外への波及効果はあったか	2.5	3.7	2.0	3.3	2.8
22	日本やタイの技術の優位性があったか（日本やタイだからこそできたこと等）	5.0	3.3	3.7	4.7	4.2

② 有効性

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1：悪い）

プロジェクト内容		3.8	4.2	3.2	3.7	3.7
23	活動の内容は満足できるものであったか	4.3	5.0	3.3	4.0	4.2
24	活動への参加人数は十分であったか	4.0	5.0	3.3	3.7	4.0
25	活動（研修やモデル農業）の期間は十分であったか	3.0	3.0	2.7	3.3	3.0
26	フォローアップ体制は十分か	3.8	3.7	3.3	3.7	3.6
プロジェクト結果の展開		3.3	3.1	3.3	4.3	3.5
27	指導した農業技術は地域で活用できるか	3.5	3.3	3.0	4.3	3.5
28	研修施設は地域の発展に有益に活用されているか	3.0	3.0	3.3	4.0	3.3
29	研修生/活動参加者は活動で培った技術を利用しているか	3.3	3.0	3.7	4.7	3.6

カウンターパート事業評価

③ 効率性

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1：悪い）

プロジェクトの効率		3.6	4.5	3.3	3.9	3.8
30	専門家の人数、専門分野は適切であったか	3.3	4.3	3.0	3.3	3.5
31	供与資機材の種類や量は適切であったか	3.5	4.0	3.7	4.0	3.8
32	建物、施設の質や規模、利便性は満足のいくものか	3.3	5.0	3.0	3.7	3.7
33	他の類似プロジェクトと比較して、本事業の投入内容から生まれた実績や成果はどうか	4.3	4.7	3.7	4.7	4.3

④ インパクト

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1：悪い）

プロジェクトの発展		4.2	4.1	4.3	3.6	4.0
34	事業で、地域発展の考え（発展の可能性や人々の意識）に変化があったか	4.0	3.0	4.0	3.3	3.6
35	GMCの活動への参加を希望する人は増加したか	4.0	4.0	4.3	4.0	4.1
36	その他の地域で類似の活動を行う考え（可能性）はあるか	4.0	4.3	4.3	4.3	4.2
37	プロジェクト実施の他の地域との協調する考え（可能性）はあるか	4.5	4.7	4.0	4.0	4.3
38	将来政府機関/少数民族団体と協調する考え（可能性）はあるか	4.3	4.7	4.7	2.3	4.0

⑤ 自立発展性

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1：悪い）

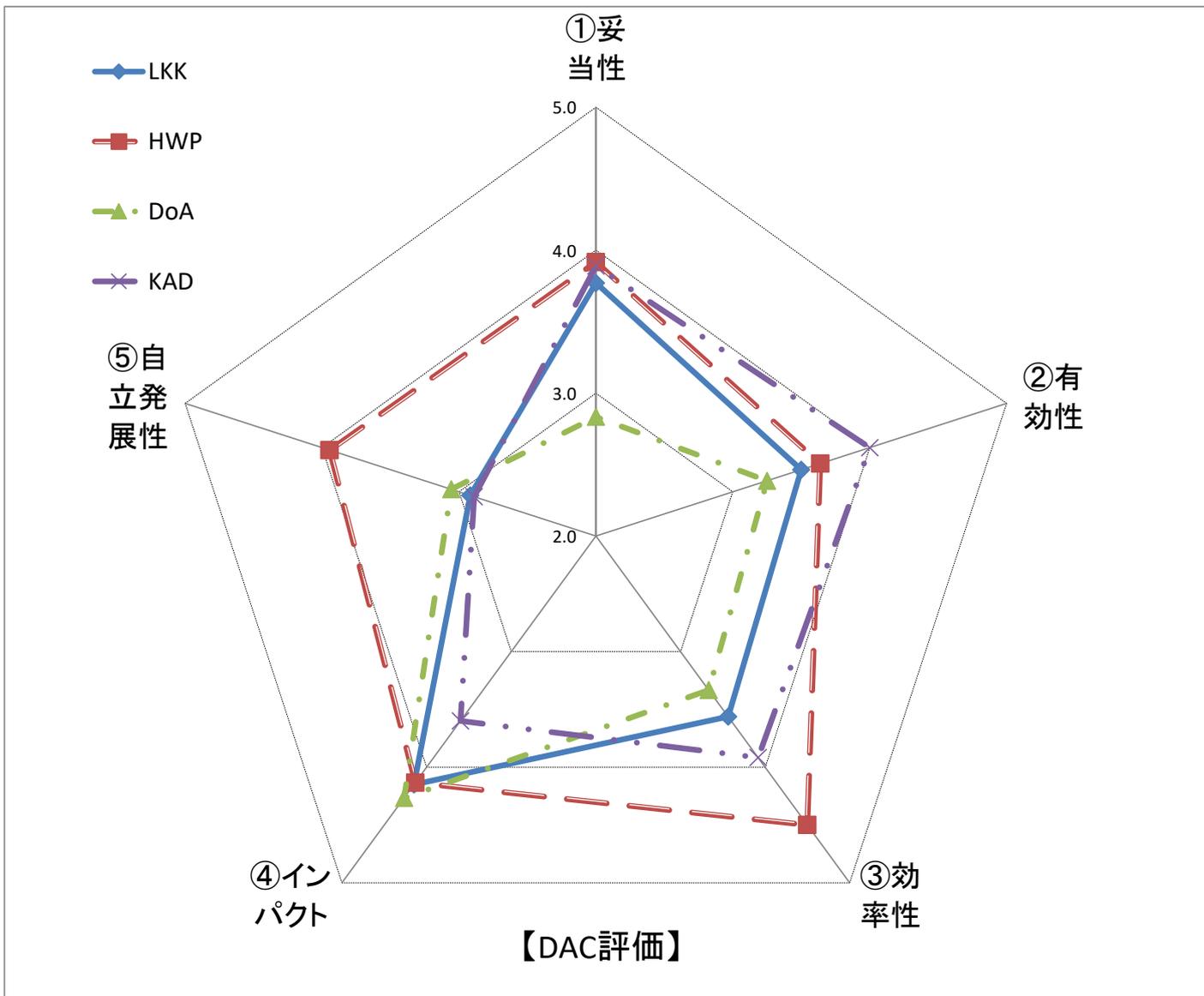
事業終了後の展開に向けて		2.9	3.9	3.1	2.9	3.2
39	事業終了後の方針について、意見交換を十分に行っているか	3.8	4.7	4.0	3.7	4.0
40	事業終了後、自立して事業を継続する人材の能力開発ができたか	2.8	4.0	3.3	3.3	3.3
41	事業終了後、自立して事業を継続する資金が確保できるか	2.3	3.0	2.7	2.3	2.5
42	事業終了後、自立して事業を継続する資金を生む仕組みは整備できているか	2.8	3.3	2.0	2.7	2.7
43	事業終了後、継続して事業効果を普及する仕組みは整備できているか	3.0	4.3	3.3	2.7	3.3
44	事業終了後、事業効果を普及する仕組みの維持は可能か	3.0	4.3	3.0	2.7	3.2

カウンターパート事業評価

【DAC評価】 グラフ

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1:悪い）

	LKK	HWP	DoA	KAD	平均
①妥当性	3.8	3.9	2.8	3.9	3.6
②有効性	3.5	3.6	3.3	4.0	3.6
③効率性	3.6	4.5	3.3	3.9	3.8
④インパクト	4.2	4.1	4.3	3.6	4.0
⑤自立発展性	2.9	3.9	3.1	2.9	3.2



カウンターパート事業評価

記述式質問：①妥当性の評価を行った理由

- We hope GMC provide more tools/machines so that technical training works better.
- Because of the help and kindness of GMC, KNU/KNLAPC battalion (755) is more develop than before.
- We (DoA) are not satisfied with GMC' s communication/cooperation with us. Our assessment. shows that the project does not work well in the villages
- If we can extend the project is more better.
- Unfortunately farmers are not capable enough to use it even though taught agricultural technique, know-how are good

記述式質問：②有効性の評価を行った理由

- Project management is very great. But local villagers are less interesting and not much educated so, seems like developing is not growing up much.
- Not very fully satisfied with GMC but they have got many improvement in their area.
- Project should be expended.
- They expected GMC would make market assessment and M&E in next year implematation period.

記述式質問：③効率性の評価を行った理由

- Machines and livestock was provided by GMC, so authorized people in project area should take care of them to make increase.
- The project area which was supported by GMC, should take good care of what' s GMC supported.
- Updated and qualities machines should be provided.
- If GMC can provide prduction and processing for the famers is more better.
- Depend on the local villagers, the project is seems developing for them.

記述式質問：④インパクトの評価を行った理由

- Speccil thanks to doners and GMC' s staffs. Misunderstanding each others is happened very often in any organization but it was great with the aim of developing karen state, there is not much problems. This is a pleasure for them.
- Expected more good things will come in next year plan and special thanks to doners and GMC' s staff.
- Project should expand to other EAO areas.
- For record, if the project areas can make argriculture guide book and keep in the library. And to prmote and develop local villages GMC should cooperate with DOA more.
- EAO and Government should be cooperate but government seems like look down on EAO still.
- Until Government and Ethnic armed organization can't build trust worthiness, developing is not much growing up as we expected.

記述式質問：⑤自立発展性の評価を行った理由

- He was felt that we got win win situation each others, between GMC and project areas. Although the project would be finsihed we will keep in touch each others. This project is directed to the positive line cuz GMC provied us many things and knowledges.
- So proud of GMC' s supported and although the project will be finished let' s keep in touch. Wish GMC' s will stand for a long time.
- For long terms, should give the famers more knowledges about profession and techniques.
- For long term maintenance, GMC should emphasize who' s really interested on argriculture and they themselves can provide and support their villages and enviromnet.

- ・ ベース・プロジェクト

- 2. 教育分野（農業技術の技術普及員の育成）

- 2-1. 6ヶ月研修細評

- ・ カリキュラム、卒業試験スコア
 - ・ 研修生リスト、アンケート

- 2-2. 短期農業研修細評

- ・ 研修生、内容リスト

- 2-3. 指導者研修（TOT）細評

2.1. 6ヶ月研修細評

【研修概要】

- 目的： ミャンマー少数民族地域にて環境保全型農業の指導・普及を行う農業リーダーを育成する
 招聘対象： ミャンマー少数民族支配地域、影響地域住民
 選定基準： ①ミャンマー少数民族支配地域、影響地域在住、②研修を受けるのに十分な学力を有する、③将来の農業リーダーを志す者、を基準として、少数民族農業団体と協議し選定
 講師： 農業専門家補佐やカウンターパートスタッフが指導（農業専門家は適宜アドバイス）
 ※ 3ヶ年事業終了後、少数民族自身が活動を継続していくために、指導を経験させた

【活動成果】

- 修了生数： 28人（最終試験平均点88.8%）が卒業
 研修満足度： 4.45点（5点満点）
 考察： 研修修了時に実施したアンケートで、非常に満足度の高い結果が見られた。特に記述式の質問にはほぼ全ての研修生が意見や感想を書き、本研修への研修生のコミットメントの高さが見られた。
 課題： 18年7月半ばから当該国にて大規模な洪水災害が発生した。本研修地N yaliathaでもモデル農場の約1/3が2ヶ月間水没し、栽培していた多くの作物に被害が発生した。
 対応： モデル農場での農業実地研修にも影響が発生したが、カリキュラムの一部を急遽アヒルと幼魚の養繁殖に変更することで対応した。

【修了証明書】



【研修修了生属性】

- 修了生数： 28名
 構成数： 性別（男24名、女4名）、年齢別（10代14名、20代14名）
 地域別（Mu Traw 8名、Taung Oo 4名、Doo Tha Htoo 1名Hpa-An 6名、Doo Playar 8名、Kler Lwe Htu 1名）
 職業別（農民4名、卒業後就業前20名、その他4名）
 考察： 本年度の6ヶ月研修については、カレン州の少数民族地域での高校卒業後就業前の参加者が増えており、少数民族地域内での、高校卒業後の進路の一つとなっていることがうかがえた。またカレン州全地域からも参加者がおり、広く本研修の情報は普及しているようである。
 なお、来年度より6ヶ月研修は本事業の枠組みを離れ、少数民族農業団体により実施される。



◆長期研修カリキュラムと卒業試験結果

指導カリキュラム

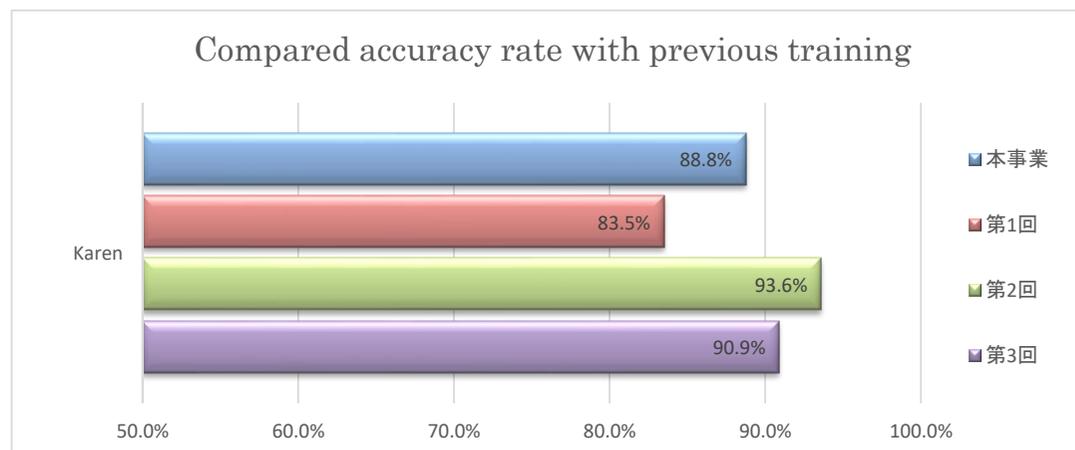
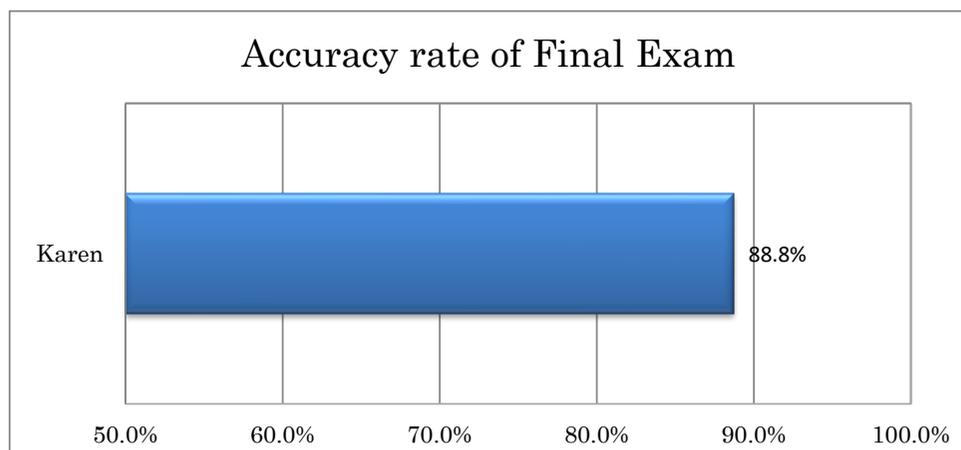
Chapter 1 : The Vicious Cycle of Chemical Agriculture
 Chapter 2 : The Ecosystem and Nutrients Cycle
 Chapter 3 : The Principles of Ecological Farming
 Chapter 4 : Soil and Water
 Chapter 5 : Soil Conservation and Fertilization
 Chapter 6 : Cropping System
 Chapter 7 : Pest Management
 Chapter 8 : Self-Seed Production
 Chapter 9 : Plant Propagation
 Chapter 10 : Farm Designing

Chapter 11 : Appropriate Technologies
 Chapter 12 : Mushroom Cultivation
 Chapter 13 : Food Preservation and Food Processing
 Chapter 14 : Extension Work and Community Development
 Chapter 15 : Teamwork and Team Building
 Chapter 16 : Alternative Marketing
 Chapter 17 : Multimedia Production and photographing technics
 Chapter 18 : Proposal and Report writing

卒業試験結果 (平均点)

		Score of Final Exam																									Previous Training		
Center	Trainees	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15	C16	C17	C18	F/A	F/B	F/C	F/D	F/E	TOTAL	1st	2nd	3rd	
Karen	28	18	18	9	17	112	45	41	142	166	24	340	92	88	44	34	39	41	72	37	92	92	468	472	2,503	88.8%	83.5%	93.6%	90.9%

※小数点以下、四捨五入



◆ List of Trainees

No.	Name	Age detailed	Gender	ethnic group	Occupation	Town/District	Village	Education
1	Saw Eh Say Gay	24	Male	Karen	Post Secondary	Mu Traw	Lu Thaw	Grade-12
2	Saw Thay Gay Htoo	24	Male	Karen	Post Secondary	Mu Traw	Dwe Lo	Grade-12
3	Saw Kaw Doh Moo	16	Male	Karen	Post Secondary	Mu Traw	Bu Toe	Grade-7
4	Saw Htee Lo	24	Male	Karen	Post Secondary	Taung Oo	Daw Pa Kho	Grade-11
5	Naw Hser Mu Lar	19	Female	Karen	Post Secondary	Taung Oo	Taw Ta Htu	Grade-7
6	Naw Lu Bwe Doh Htoo	20	Female	Karen	Post Secondary	Taung Oo	Taw Ta Htu	Grade-9
7	Saw Hser Ku Nu	27	Male	Karen	Farmer	Hpa An	Ta Nai Hsar	Grade-9
8	Saw Think Lwin	21	Male	Karen	Post Secondary	Doo Pla Yar	Kaw Kariiek	Grade-12
9	Saw Paw De	19	Male	Karen	Post Secondary	Doo Pla Yar	Kaw Kariiek	Grade-10
10	Saw Paw Htoo	19	Male	Karen	Post Secondary	Doo Pla Yar	Kaw Kariiek	Grade-6
11	Saw Nay Thay	17	Male	Karen	Post Secondary	Hpa An	Lu plat	Grade-6
12	Saw K'paw Htoo	15	Male	Karen	Post Secondary	Hpa An	Lu Plat	Grade-5
13	Saw Plo Gay	22	Male	Karen	Post Secondary	Kler lwe Htu	Moo	college
14	Saw Kyaw Bee	21	Male	Karen	Post Secondary	Mu Traw		college
15	Naw Lah Gay Wah	18	Female	Karen	Post Secondary	Mu Traw	Lu Thaw	Grade-12
16	Naw Hsar Kriee Paw	19	Female	Karen	Post Secondary	Mu Traw	Lu Thaw	Grade-11
17	Saw Ta pee pee	21	Male	Karen	Other	Doo Pla Yar	Noe Ta Kaw	Grade-11
18	Saw Aye Naing	23	Male	Karen	Other	Mu Traw	Bu Toe	College
19	Saw Hsar Ku Htoo	23	Male	Karen	Other	Taung Oo	Taw ta Htu	Grade-12
20	Saw Nay Lin Soe	23	Male	Karen	Other	Doo Pla Yar	Worie	Grade-6
21	Saw Lay Bel Wah	17	Male	karen	Farmer	Doo Pla Yar	Lay Kay Kaw	Grade-8
22	Saw Ta Eh Moo	22	Male	Karen	Farmer	Doo Pla Yar	Lay Kay Kaw	Grade-5
23	Saw Way Pho	16	Male	Karen	Farmer	Doo Pla Yar	Lay Kay Kaw	Grade-7
24	Saw Moe Tu Rah	20	Male	Karen	Post Secondary	Doo Tha Htoo	Jo Doh	Grade-11
25	Saw Ta Thet Lin	19	Male	Karen	Post Secondary	Hpa An	Lu Plat	Grade-10
26	Saw Tha Mee	18	Male	Karen	Post Secondary	Mu Traw	Bu Toe	Grade-8
27	Saw Kung Ta	18	Male	Karen	Post Secondary	Hpa An	Mea K'Tu	Grade-6
28	Saw Nyon	17	Male	Karen	Post Secondary	Hpa An	Mea k'Tu	Grade-6

◆長期研修修了生アンケート

- ・卒業生に対し、スコアリング形式と記述式のアンケートを実施
- ・研修修了生の本音を拾い上げるため、アンケートの形態は匿名性を重視した無記名式とする

スコアリング形式の質問（28名平均値）

なお参考値として先行事業での卒業生に対する平均スコアも併記 コアも併記

カテゴリー	質問内容	本事業	先行事業での研修		
			第1回	第2回	第3回
全般	1. 研修の内容は、必要性を感じるものでしたか	4.54	3.63	4.13	4.80
	2. 研修内容・表現のレベルは適切でしたか	4.57	3.84	4.29	4.70
	3. 研修の内容を十分に理解できましたか	3.79	4.08	4.14	3.63
	4. 研修で学んだことは今後、役に立つと思いますか	4.71	4.82	4.69	4.98
意識	5. 毎日、意欲を持って取り組みましたか	4.57	4.51	4.52	4.70
	6. 参加者同士で協力しましたか	3.88	3.51	4.07	4.20
	7. 研修を受けて農業への関心は高まりましたか	4.32	4.51	4.61	4.72
	8. 研修を受けて農業についてもっと学びたいと思いましたか	4.36	4.43	4.45	4.85
指導員	9. 指導員と十分なコミュニケーションはとれましたか	4.57	4.04	4.38	4.57
	10. 指導員の教え方はよかったですか	4.86	4.27	4.38	4.83
	11. 指導員は情熱をもって教えていましたか	4.86	4.41	4.54	4.85
その他	12. また参加したいと思いますか？	4.43	3.82	4.32	4.65
平均		4.45	4.15	4.38	4.62

※質問は5段階評価で実施（評価5：良い、3：普通、1：悪い）：悪い

記述式質問

1. この研修に参加して、得たこと・学んだことは何ですか（知識・行動・意識等について）
2. この研修を受けて学んだことを今後どのように活用しますか
3. ご意見・ご感想・ご要望など何でも結構ですので、記入してください

※回答は抜粋して記載して記載

◆長期研修修了生アンケート

1. この研修に参加して、得たこと・学んだことは何ですか（知識・行動・意識等について）

- He got many experience on this training and knowledges from trainers/teachers whos has taught him about argiculture. And on this program, he known how to make income gerneration from argiculture.
- On this training, they got many thing such as gernal knowledge, encouragement. He got many experience and knowledges which he did not know such as agriculture. He really thanks to teachers/trianers and also this training center.
- He got many knowledges on this training. It was so great that he was expected. And he imitated many good thing from teachers/trainers. And he knows about how to cultivate with natural fertilizer and how to get organic vegetables.
- Because of a grreat teachers and trainers, e can learn about the knowledge of agriculture and they had shared about the pro's & con's by using chemical ferterlizer, he knows more about how to make natural fertilizer so he say thanks to GMC and teachers.
- This time he attend this training and he got many things so when he go back to his village, he can share the knowledge what's he got on this training.
- He says thanks to the tainers and teachers and also this organization too because he got many thing about argiculture.
- On this training, he knows how to communicate to each other and public speaking. And he got vision for his village.
- This training is mainly gives how to grow the plants natuarlly. He known various kind of cultivation, how to protect the plants. He was observed that, even we would like to make business we should have good connection with business men.
- On this training, he got many experience about agriclutre not only for him but also he can share to others. He known more about the plants and how to make natural fertilizer.
- This is the great training for him ever. He was learned about how to make natural fertilizer and how to maintain the soil and get more income on agriclutre.
- He was learned about agriculture and how to maintain the soil and say thanks to every trainers.
- The training is mainly gives how to grow the plants naturally. And got many things about handicraft. So thanks so much to the training center and every trainers.
- It was a great time to attend this 6 months training and he was learned many things about agriculture and he can share to his family and villagers. .
- He can not afford to apply all the knowledge he's got but he will try his best for his enviroment.
- Her ambition to attend this training was, she would like to help his villagers as much as she can.
- Every lecture was very great and important so he would like to try till he got income on this agriculture.
- Regarding for this training, he had learned many thing about natural planting and how to make natural fertilizer and how to maintain the soil.
- He was learned about agriculture and how to maintain the soil and how to make natural fertilizer raltiolly. He got many things what's he did not know.
- He has learned about agriculture and got many experience, eg. Bokashi, compost, green maunre,IMO1m IMO2 and TMO. And also the pro's and con's of using chemical fertilizer.
- He really got many thing about natural planting, how to use natural fertilizer and how to make fertilizer. He was really interested and he would like to develop his village too.
- According to the great teachers and trainers, he was understood many thing about argiculture, and how to use ferlizer properly. He was learned every thing which was taught.
- He has learned about agriculture and got many experience, eg. Bokashi, compost, green maunre,IMO1m IMO2 and TMO. And also the pro's and con's of using c chemical fertilizer.
- He has learned about the disavantages by using, chemical fertilizer and know more about the advantages of using natural fertilizer.
- He knows more about agriculture and he can discuss with others about how to cultivate systematically and to use natural fertilizer.
- By using natural fertilizer, it will give us healthy fruits and vegetables. And we can take care of our health.
- He has learned about agriculture and got many experience, eg. Bokashi, compost, green maunre,IMO1m IMO2 and TMO. And also the pro's and con's of using c chemical fertilizer.
- Know more about hadicraft and its so meaningful for them.
- He was learned many thing about agriculture and he knows how to make income and rely on by cultivate systematically.

◆長期研修修了生アンケート

2. この研修を受けて学んだことを今後どのように活用しますか

- He would go back to his village and share and discuss about the knowledge which he got from this training. So that, it will help the villagers to get income and to survive for themselves.
- Thank you very much. If he go back to his village, he would like to share who's did not know about how to cultivate systematically. And he would give training course about argriculture for his village to develop his place.
- As he got many things from this training, he would like to share and educate his villagers especially about agriculture.
- He got many things about how to cultivate the plants systmatically and how to use natural fertilizer.
- He would go back and sharing to the villagers as much as he can about how to grow the plants and use natural fertilizer.
- He will apply this knowledge for his family and also for villagers too.
- He will apply this knowledge for his village gradually and sharing each other how to grow plant naturally.
- He would go back to his village and sharing the knowledges he got from this training to his family and villagers.
- When he go back he would share the experience to his family and villagers.
- He would go back to his village and sharing the knowledges he got from this training to his family and villagers.
- He would like to share his experience to his enviroment, and also he would like to give training about how to use natural fertilizer and how to make natural fertilizer.
- He would go back and share every experience what's he got on this training as much as he can.
- He would go back to his village and sharing the knowledges he got from this training to his family and villagers.
- She would like to share her enviroment what's she got from this training.
- He would like to share his experience to his enviroment, and also he would like to give training about how to use natural fertilizer and how to make natural fertilizer.
- He would try his best till he got something and help karen people on the other hand.
- He would share his experience to the villagers even he do not have time to cultivate by himself.
- He would share his experience to the villagers even he do not have time to cultivate by himself.
- The gratitute of this traning, he can apply how to make natural fertilizer practically and he knows more about how to plant with naturally.
- He would apply any little which he got from this training. And will share to his enviroment..
- We should apply this natural processes, because we should avoid soil damage and to recover and maintain the soil.
- He will try his best by himself first and will sahre and contribute the villagers and enviroment to develop them.
- He knows more about handicrafe and he recognized that this training is very meaningful for him.
- He would like to open short training and share about what's he got on this training.
- The teachers and trainers was very kindful and he was learned that this training is so meaningful for them.
- He will surely go back to his village and share about the experience he got from this training.
- He would surely go back to his village and give them awariness for the agriculture.

◆長期研修修了生アンケート

3. ご意見・ご感想・ご要望など何でも結構ですので、記入してください

- This training is so meaningful for him and he can share and delegate to his posterity and they can stand on his own.
- He say thanks to teachers/trainers which had taught them about agriculture, other knowledges and also this GMC too.
- He would like to suggest next year, he wants the center or authorized person will find the one who is really interested on agriculture.
- Say thanks to the organization and every teachers who has touched him wihtin this 6 months. And also the good care from this training center.
- If this training will be opend on, he would like to attend too.
- He knows how to make income on agriculture and how to cultivate with natural fertilizer.
- Hope this training center will last forever and he would like to attend this kind of training too.
- Say thanks to the organization and every teachers who has touched him wihtin this 6 months. And also the good care from this training center.
- Hope this training center will last forever and he would like to attend this kind of training too.
- He got many vision how to step in the futurre to develop his enviroment.
- Say thanks to the organization and every teachers who has touched him wihtin this 6 months. And also the good care from this training center.
- Say thanks to the organization and every teachers who has touched him wihtin this 6 months. And also the good care from this training center.
- she still needs many suggestion from teachers/trainers, so she wish she will be helped.
- It was a great training, especially for natural planting.
- This KAD training center was standed for Karen people. So wish this taining will last forever.
- It was a great training so wish it will last forever.
- It was a great training so wish it will last forever.
- He realized that KAD is one of the tranining center which can support who's interested on agriculture and the mother school for him.
- He was satified on this training and sufficient for him too. He realized that if we use natural fertilizer, we can maintain the plants and soil too.
- He would like to make income on this agriculture, and would like to develop his enviroment.
- Its too sufficient knowledges to stand by themselves, he would like to request that if KAD put "Poe karen" interpreter in the training.
- Say thanks to the organization and every teachers who has touched him wihtin this 6 months. And also the good care from this training center.
- Say thanks to the organization and every teachers who has touched him wihtin this 6 months. And also the good care from this training center.
- Say thanks to the teachers and trainers and he wish this training it will opened again and again.
- He would like to suggest that if the training would give the knowledge of pharmacy.
- He would like to attend this kind of training in the future, it was so meaningful for them.

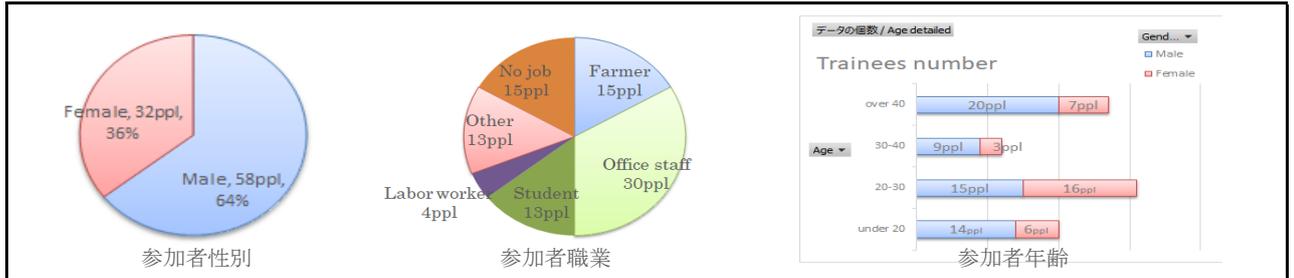
2.2. 短期研修細評

【概要】

- 目的： 興味があるものの、長期間の研修に参加できない住民に対し、テーマを絞った研修を提供する
 対象： 農業改良普及所周辺（ミャンマー少数民族支配地域）のコミュニティー住民
 講師： 農業専門家補佐やカウンターパートスタッフが指導（農業専門家は適宜アドバイス）
 ※ 3ヶ年事業終了後、少数民族自身が活動を継続していくために、指導を経験させた

【参加者属性】

- 参加数： 90人（農業加工技術：46人、適正技術：44人）
 構成数： 性別（男58人、女32人）、
 職業別（農民15人、雇用労働者30人、日雇い労働者4人、学生13人、無職15人、その他13人）
 年齢別（10代20人、20代31人、30代12人、40代以上27人）



【活動成果】

- 成果指標： 短期研修を通して、コミュニティー住民の半数以上の生活が向上している
 アンケート： 参加者の**82.2%**が生活向上のための知識や技術を得ることができたと回答
 ※ なお今後は参加者が自身のコミュニティーに帰還し、それぞれ10人にその知識や技術を普及させる。

【研修内容】

- ・ 実施期間が短期間となるため、容易に習得が可能な項目に絞り、指導項目を選定
- ・ 研修終了後、自身で実践が可能となるよう、座学よりも実習を優先した指導工程を採用
- ・ 指導項目は農業専門家により選定したが、地域のニーズに基づき一部アレンジ

場所	指導内容	参加者数	実施日
Lay Kay Kaw	ボカシ有機肥料の製造、種子の保護方法についての実践型指導	24	4/26 ~ 4/30
Lay Kay Kaw	クボタエンジン修理	24	5/1 ~ 5/2
Nyaliatha	ソーラーシステム修理	20	5/21 ~ 5/23
Lay Kay Kaw	こんにやく芋加工	22	5/28 ~ 5/29

【研修評価】：4段階のスコアリング形式にて回答

- アンケート実施： 4段階スコアリング形式による研修の評価を行う
 設問： 参加した研修で生活改善のための知識や技術を得ることができましたか？
 回答： 4. とてもできた、3. 十分できた、2. あまりできなかった、1. 全くできなかった

達成者： 短期研修参加者で生活改善が期待できると判断された者（回答が3か4のもの）

場所	指導内容	参加者数	達成者	割合
Lay Kay Kaw	ボカシ有機肥料の製造、種子の保護方法についての実践型指導	24	21	87.5%
Lay Kay Kaw	クボタエンジン修理	24	19	79.2%
Nyaliatha	ソーラーシステム修理	20	17	85.0%
Lay Kay Kaw	こんにやく芋加工	22	17	77.3%
合計		90	74	82.2%
(目標値)		40	28	70.0%

2.2. 短期研修参加者リスト

◆Bokashi Processing

No	Name	Age	Gender	Job Title	Village
1	Pho Chit	24	Male	Office staff	Myawadee
2	Daw Wai Wai Myint	60	Female	Office staff	DoA
3	Daw Nan Aye Mar Hlaing	40	Female	Office staff	DoA
4	Daw Khine Phoo Thant	27	Female	Office staff	DoA
5	Daw Aye Aye Maw	24	Female	Office staff	DoA
6	Daw Ei Mon	23	Female	Office staff	DoA
7	Daw Nan Yee Yee Win	24	Female	Office staff	DoA
8	U Mann Thein Kyaw	46	Male	Office staff	DoA
9	U Saw Mar Ka Law	18	Male	Other	Hti Wa Plaw
10	Saw Thet Paing Oo	18	Male	Farmer	LKK
11	Cho Cho	38	Female	Farmer	Hti Phal Wa Thi
12	Naw Lae Lae Win Hlaing	22	Female	Office staff	LKK
13	Naw Mu Wee	19	Female	Office staff	Mal War Khee
14	Khine Thu Zar Hnin	21	Female	Office staff	Mae Htaw Tha Lay
15	Naw Nan New	17	Female	Office staff	LKK
16	Aye Thazin Naing	22	Female	Office staff	LKK
17	Nyi Lwin	45	Male	Office staff	LKK
18	Oo Thein	55	Male	Office staff	LKK
19	Hla Kyaing	50	Male	Farmer	LKK
20	Saw Soe Myint	44	Male	Farmer	LKK
21	Saw Min Oo	19	Male	Office staff	LKK
22	Saw Tha Wor	43	Male	Other	Mae Wa Khee
23	Naw Sae Gay Wah Moe	48	Female	Other	Mae Wa Khee
24	Ko Ko Moe Myint	26	Male	Office staff	LKK

◆KUBOTA Repairing

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Village
1	Pho Chit	24	Male	Other	Myawadee
2	Daw Wai Wai Myint	60	Female	Labor worker	DoA
3	Daw Nan Aye Mar Hlaing	40	Female	No job	DoA
4	Daw Khine Phoo Thant	27	Female	No job	DoA
5	Daw Aye Aye Maw	24	Female	No job	DoA
6	Daw Ei Mon	23	Female	No job	DoA
7	Daw Nan Yee Yee Win	24	Female	No job	DoA
8	U Mann Thein Kyaw	46	Male	No job	DoA
9	U Saw Mar Ka Law	18	Male	No job	Hti Wa Plaw
10	Saw Thet Paing Oo	18	Male	No job	LKK
11	Cho Cho	38	Female	No job	Hti Phal Wa Thi
12	Naw Lae Lae Win Hlaing	22	Female	No job	LKK
13	Naw Mu Wee	19	Female	No job	Mal War Khee
14	Khine Thu Zar Hnin	21	Female	No job	Mae Htaw Tha Lay
15	Naw Nan New	17	Female	No job	LKK
16	Aye Thazin Naing	22	Female	No job	LKK
17	Nyi Lwin	45	Male	Other	LKK
18	Oo Thein	55	Male	Farmer	LKK
19	Hla Kyaing	50	Male	Labor worker	LKK
20	Saw Soe Myint	44	Male	Office staff	LKK
21	Saw Min Oo	19	Male	Office staff	LKK
22	Saw Tha Wor	43	Male	Office staff	Mae Wa Khee
23	Naw Sae Gay Wah Moe	48	Female	Office staff	Mae Wa Khee
24	Ko Ko Moe Myint	26	Male	Office staff	LKK

2.2. 短期研修参加者リスト

◆Solar cell machanic

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Village
1	Saw Eh Say Gay	24	Male	Student	Mu Draw
2	Saw Thay Gay Htoo	24	Male	Student	Mu Draw
3	Saw Kay Doh Moo	16	Male	Student	Mu Draw
4	Saw Htee Lo	24	Male	Student	Taungoon
5	Naw Hser Mu Lar	19	Female	Student	Taungoon
6	Naw Lu Bwe Doh Htoo	20	Female	Student	Taungoon
7	Saw Hser Ku Nu	27	Male	Farmer	Hpa An
8	Saw Think Lwin	21	Male	Student	Doo Pla Yar
9	Saw Paw De	19	Male	Student	Doo Pla Yar
10	Saw Paw Htoo	19	Male	Student	Doo Pla Yar
11	Saw Nay Thay	17	Male	Student	Hpa An
12	Saw K'paw Htoo	15	Male	Student	Hpa An
13	Saw Plo Gay	22	Male	Student	Kler lwe Htu
14	Saw Kyaw Bee	21	Male	Student	Mu Draw
15	Saw Dee Hser	15	Male	Farmer	Hpa An
16	Saw Aung Thein sain	18	Male	Farmer	Hpa An
17	Saw Maung Klu	53	Male	Farmer	Hpa An
18	Saw Pha Di	30	Male	Farmer	Hpa An
19	Bala Kyaw Kaung	24	Male	Farmer	Doo Pla Yar
20	Saw Htoo Day	45	Male	Farmer	Hpa An

◆Konjac Potato Processing

No	Name	Age detailed	Gender	Job Title	Village
1	Aye Thazin Naing	22	Female	Office staff	LKK
2	Naw Nan New	17	Female	Office staff	LKK
3	Naw Khine Khine Myint	58	Female	Office staff	KNPC
4	Saw Soe Win	59	Male	Office staff	KNPC
5	Saw Tae Dee	33	Male	Office staff	KAD
6	Saw Sae Nay	46	Male	Other	LKK
7	Saw San Myint	33	Male	Other	LKK
8	Billion Boy	30	Male	Office staff	KnPF
9	Saw Thar Eh	30	Male	Other	LKK
10	Saw Thet Paing Oo	18	Male	Labor worker	LKK
11	Saw Ta Mu	30	Male	Other	LKK
12	Ko Tun	46	Male	Labor worker	LKK
13	Saw Lwin	45	Male	Other	LKK
14	Saw Kapaw Thoo	33	Male	Other	KAD
15	Saw Chit Win	24	Male	Office staff	LKK
16	U Myo Oo	47	Male	Other	LKK
17	Naw Ka Mwee Say	32	Female	No job	Ka Hto Hta
18	Saw Be Htal	28	Male	Farmer	Ka Hto Hta
19	Saw De Phoe	39	Male	Farmer	Sa Kar Chat
20	Saw Oo	35	Male	Farmer	Sa Kar Chat
21	Ah Si	43	Male	Office staff	Ba Hi Hta Law
22	Phoe Chit	24	Male	Other	Hti Wa Palaw

2.3. 指導者研修 (TOT) 細評

◆サテライトTOT研修

【研修概要】

目的： 農業普及員主体で僻地開発を実施するにあたり、各地域での開発の方法や方向性を統一することを目的とする

招聘対象： ミャンマー少数民族農業開発普及員（幣団体の6ヶ月研修卒業生）

選定基準： ①過去に幣団体の6ヶ月研修を修了したもの、②故郷の農業開発の夢があり積極的である、③将来の農業リーダーを志す者であり、地区リーダーともよい関係を構築できる、を基準として、少数民族農業団体と協議し選定

講師： 農業専門家、農業専門家補佐やカウンターパートスタッフが指導

※ 3ヶ年事業終了後、少数民族自身が活動を継続していくために、指導を経験させた

【活動成果】

参加者数： 農業開発普及員21人が参加

内容： リーダーを5人選定し、各地区毎にチームワークで長所短所を補いながら、農業開発を進めていくこととなった。また研修内で、各地の年間活動プランを作成し、それを元にサテライト活動を実施していく。

◆TOT研修

【研修概要】

目的： 幣団体農業専門家補佐、カウンターパートスタッフ、各地の農業普及員と共に参加する1週間の研修で、外部講師を招聘し、対話式の講義を実施する。また各地域の状況を共有しあい、また情報交換を行うことで、共通理解を醸成する。

招聘対象： GMC現地スタッフ、カウンターパートスタッフ、ミャンマー少数民族農業開発普及員

講師： 農業専門家がスーパーバイザーとなり、農業専門家補佐やカウンターパートスタッフが主体的に研修を進める。なお更なる知識や能力向上のため、外部講師を招聘する

外部講師： ミャンマー連邦カレン州ミャワディー郡のこんにやく加工農家

タイ国ターク県メーサリット郡在住の有機農業専門農家

タイ国メーホンソン県在住のオーガニックコーヒー農家

タイ国メーホンソン県の若手農業協会のリーダーである有機農家

タイ国マーケティング専門家

【活動成果】

参加者数： 44人が参加

内容： 次年度事業に向けて、各事業実施地域、及びサテライト事業実施地の連携体制の構築の共通認識、相互理解が醸成された。次年度は更に円滑な活動体制、及び各地の連携体制が期待できる

・ ベース・プロジェクト

3. 収入向上研究分野（市場開拓と付加価値向上）

3-1, 2. 市場開拓・付加価値向上活動細評

◆ 農業生産物別細評

ボカシ（有機肥料）

乾燥こんにやくチップ（グルコマンナン）

こんにやく麺、板こんにやく

ごま油

ドライフルーツ

コーヒー

ソルガム・サイレージ

3-1.2. 市場開拓・付加価値向上活動細評

◆農業生産物の市場開拓・付加価値向上活動

【活動概要】

- 目的： 農業生産物の付加価値が向上し、独自のマーケットに販売できる
 主な活動： ①農業生産物をカウンターパートと連携し、直販や委託販売
 ②農業生産品の付加価値が向上
 ③市場調査、マーケティング活動
 ④ブランドの育成活動

【活動成果】

- 市場開拓済： 3種（ボカシ、こんにゃく芋、ごま油、こんにゃく麺（こんにゃく加工））
 市場開拓中： 2種（乾燥バナナ、コーヒー）
 生産実験中： 1種（ソルガムサイレージ）

属性	写真	生産物	生産地
		成果内容	
		販売価格	市場開拓先
		その他	
市場開拓済		ボカシ（有機肥料）	Lay Kay Kaw
		循環型農畜産業を普及する為、有機肥料の生産販売を実施。ミャンマー国内の販売のための行政手続きを完了した。商標登録プロセスを経ることで、商材ステータス向上し販路開拓を目指している。	
		17THB/kg	在シャン州NGO、LKK住民
		生産者登録、販売許可取得（肥料法に基づく） 成分分析：実施済み	
市場開拓済		乾燥こんにゃく	Lay Kay Kaw・Hti War Plaw
		在ヤンゴンの日系企業と連携し、加工生産を実施。地域で自生、栽培していたコンニャク芋を、加工による付加価値を付け、新たな農産業を興すきっかけを提供することができた。	
		8,500MMK/kg	在ヤンゴン日系企業
		成分分析：申請中	
市場開拓済		こんにゃく麺	Lay Kay Kaw
		地域で自生、栽培していたコンニャク芋を、加工による付加価値を付けることを目指し商品開発。当事業で建設したマーケティングセンターでの販売	
		35THB/kg	LKK住民
市場開拓済		板コンニャク	Lay Kay Kaw
		地域で自生、栽培していたコンニャク芋を、加工による付加価値を付けることを目指し商品開発。当事業で建設したマーケティングセンターでの販売を目指している	
		1,500MMK/220g	LKK住民
市場開拓済		ごま油	Nyaliatha
		タイ市場によく流通しているごま油を参考に試作品を作り、マーケット開拓を実施。ごま原料は、幣団体が僻地開発を実施しているカレン州村々から調達した	
		450THB/l	タイ国内ネット通販

3-1.2. 市場開拓・付加価値向上活動細評

◆農業生産物の市場開拓・付加価値向上活動

市場開拓中		ドライフルーツ	Nyaliatha
		バナナの試作完了。現在メーソット、及びミャワディー両国境都市での製品展開に向け、営業先リストを作成中。随時営業予定	
		市場価格	交渉中 (Mae Sot)
市場開拓中		コーヒー	Satellite
		カレン州のコーヒー生産者と連携し、フェアトレードにて生産者還元を行っているKaren Coffeeと連携交渉中。ミャンマー国際女性コーヒー連合の登録製品である。	
		来年収穫物をサンプル提出	在ヤンゴンコーヒー業者
生産実験中		ソルガム	Nyaliatha, Hti War Plaw, Lay Kay Kaw
		在バンコクの日系企業と連携し、実験栽培を開始。東京大学、名古屋大学、東京農工大学が共同で開発したゲノム品種。発電用バイオ燃料や家畜用飼料等の用途があり、実験栽培中	
		50,000MMK/tonで交渉中	交渉中 (ヤンゴンの畜産農家)
		生産者登録申請調整中 (種子法に基づく) 成分分析：実施済み	

◆メディアを通じた付加価値向上活動

【活動概要】

目的：メディアを通し、本農業事業や事業地の認知度を向上させることで、農業生産物の間接的な付加価値向上を目指す。

- 主な活動：①カレン州政府農業局と連携し、広報活動を実施する
②新聞社や放送局の協力による広報活動を実施する
③SNS等を通し、広報活動を実施する

【活動成果】

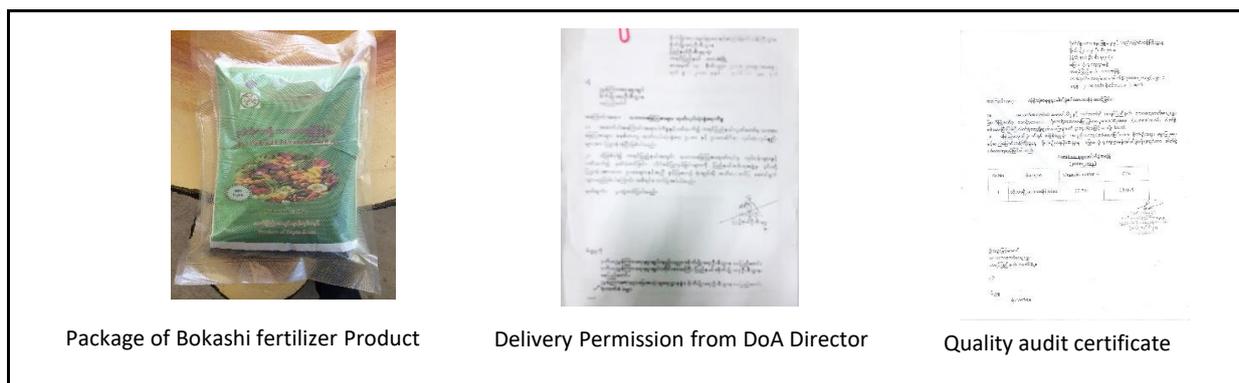
テレビ番組：特別ドキュメンタリー番組の製作（放映は2019年明けを予定）
ミャンマー国営ファーマーチャンネル製作

ニューウ番組：4回（共にミャンマー国営MRTVのニュース番組）

新聞掲載：26回

※：詳細はメディアレポート参照

農業生産物別細評：ボカシ（有機肥料）



◆品質証明

含有成分分析 : iLab(ISO/IEC 17025)にて、構成物検査を実施

構成内容 (Germination Index : 60.2%、Organic Matter : 23.9%、Moisture : 18.7%)

検査機関 : IONIQUE.CO.,LTD (Thailand)

検査実施日 : 2018年3月19日

◆市場開拓

2018年11月 : NPO法人 地球市民の会 (先方NPO事業地で、ボカシ有機肥料の使用を普及中)

2018年10月 : JAPAN AGRI CHALLENGE (THAILAND) CO., LTD. (有機トマト農家による、ボカシ肥料栽培を実験中)

2018年11月 : Lampang Food Products Co., Ltd., (サンプル品を渡し、トウモロコシ栽培にボカシ肥料が合うか試験中)



農業生産物別細評：こんにやく麺（こんにやく加工）

◆活動実績：スケジュール

分野		活動内容	2018														
			September				October				November						
			1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week			
生産	試作品の生産(こんにやく麺)																
	試作品の生産(板こんにやく)																
	加工機械導入																
販売	販売促進(事業ステークホルダーへの試食会)																

◆こんにやく麺（こんにやく加工）の特性

属性： サトイモ科の植物。インドシナ半島原産。現地では芋の形状から「象の足」という異名がある。

概要： 低カロリーで食物繊維が豊富なこんにやくをつなぎとして、麺といった加工食品を製造。日本では、"低カロリー、低糖質、低脂質"の低カロリーダイエット食品と知られる。

本事業特性： 地域で昔から自生栽培・収穫されていた"コンニャク芋"を活かした付加価値商品の開発。

展開先： レーケーコー村をターゲットとして、マーケティングセンターで販売を試みる。

試食会結果： こんにやくの臭気が残っている為、加工工程の改善により、品質向上を期待できる。
麺を茹でなく、また冷えても伸びないので（こんにやくマンナンの特性）、現地の台所事情に合った調理ができると感じる。

加工技術レクチャーの実施

： 支援地域では未だ、コンニャク芋の用途・可能性は認知されていなく、外部からの商人に原料のまま卸す術しか持っていない。弊団体が21のカレン州の村から農学校卒業生（農業開発普及員）を招聘し農業開発指導者研修を実施した際に、こんにやく加工技術の知識をレクチャーし、収入向上の新しい術を得る場となった。

◆関連写真



製麺過程



製麺機



加工レクチャー



調理例/販売プロモーション

農業生産物別細評：ごま油

◆活動実績：スケジュール

ごま油		2018																				
分野	活動内容	July				August				September				October				November				
		1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	1st Week	2nd week	3rd week	4th week	
生産	試作品の生産																					
	パッケージング考案																					
	受注生産																					
販売	営業活動(SNS訴求)																					
	営業先リストの作成																					

◆ごま油の特性

本事業特性：世界のごま生産の上位を独占している産地のひとつが"ミャンマー"でありながら内需はなく、その大半が輸出されている。一方、ミャンマー国内で消費されている食用油の大半は隣国のマレーシアから輸入される安価なパーム油であるが、当事業では、環境配慮された食用油の普及を目指し"ごま油"の販路開拓を目指す。

試作：まずはタイ市場によく流通しているごま油を参考に試作品を作り、マーケット開拓を実施することとなった。ごま原料は、弊団体が僻地開発を実施している村々から調達。

展開先：SNSでの訴求他、在ヤンゴン飲食店にサンプルを配り、販路開拓中

◆関連写真



原料栽培地 @支援カレン僻地の村々



製油過程



販売製品

農業生産物別細評：ソルガム・サイレージ

◆活動実績：スケジュール

ソルガム・サイレージ		2018																									
分野	活動内容	June				July				August				September				October				November					
		1st	2nd	3rd	4th	1st	2nd	3rd	4th	1st	2nd	3rd	4th	1st	2nd	3rd	4th	1st	2nd	3rd	4th	1st	2nd	3rd	4th		
生産	日系企業モデル農場視察																										
	試験栽培@NLT																										
	試験栽培@HWP																										
販売	日系企業との連携交渉																										
	販売促進(乳牛牧場@ヤンゴン近郊)																										
	販売促進(乳牛牧場@ミャワディー近郊)																										

◆本ソルガムの特性

属性：イネ科の一年草の植物・穀物。熱帯アフリカ原産。タカキビ（高黍）とも呼ぶ。

概要：ソルガムの遺伝子情報をゲノム解析し、優良な配列を組み合わせた最新の植物改良技術である「ゲノム育種」による生まれたソルガム（遺伝子組み換えではない、F1品種）。通常のソルガムより発育速度が早く、環境適応能力も高い品種で、バイオ燃料や家畜飼料に利用できる。

版元：アースノート（沖縄県の農業ベンチャー企業）

開発協力：東京大学、名古屋大学、神戸大学、筑波大学、理化学研究所

タイ販売版元：マツダエンジニアリング

タイ側生産状況：2018年10月現在、タイ王国ナコンラチャシマ県、アユタヤ県、カンチャナブuri県にて発電所へのバイオ燃料販売を目的として、試験栽培を実施中

タイ王国アドバイザー：タイ王国立カセサート農業大学校農業学部教授

他国生産状況：メキシコ、メキシコ国立農畜産林業研究所、他民間企業と連携し、共同事業実施中
インドネシア、インドネシア科学院イノベーションセンターと共同事業実施中
カンボジア、ベトナム、フィリピン、オーストラリアで民間企業と共同事業実施中

◆日系企業との連携交渉

GMCとの連携：ミャンマーでの事業展開を模索している企業と農民の収入向上を目指すGMCとで試験栽培に向けての合意

試験栽培に向けて：事業地での栽培適正を確認するために、1.0kg分の試験栽培用の種子の無償提供を受ける

栽培に対し：海外からの農作物を栽培する際には種子法により栽培者登録が必要であるが、カレン州農業局に確認の上、試験栽培実施。仮に栽培が成功し、マーケット開拓が達成されれば、種子法に基づく生産者登録の行政手続きを行う。

◆バイオ燃料、及び家畜飼料（サイレージ）の成分分析結果

	<p>基礎熱量: 3874kcal/kg 水分量分析: 8.86%</p> <p>燃料として優良</p>		<p>粗蛋白質: 6.0% エネルギーTDN: 57.3% 総繊維: 68.2%</p>
---	--	--	--

農業生産物別細評：ソルガム・サイレージ

◆日系企業モデル農場視察

内容：タイ王国ナコンラチャシマ県にあるソルガムモデル農場にて収穫物の確認と栽培方法の指導を受けた。3ヶ月の栽培で、約5～6mに成長し、収穫が可能である。また根元を残して刈り取れば、そこから再び成長し、更に3ヶ月で2度目の収穫が可能となる。これを繰り返し、1年間で4回の収穫が可能となり、他の作物よりも多い収穫量を見込むことができる。

◆試験栽培

Nyaliatha：0.3kgを試験栽培実施中（9月15日開始）
Hti War Plaw：0.7kgを試験栽培実施中（9月21日開始）
第1回収穫：2018年12月を予定

◆栽培状況



◆市場開拓

販促地①：ヤンゴン近郊ShwePyiThar郡にある乳牛牧場に、家畜飼料としてのソルガムの採用に向けて訪問
結果：現在、牧場主はビールかすを乳牛への補助食品として購入している。しかし十分な供給量がないため、彼らの需要を満たしていない。そのため、周辺から牧草を購入しているが、乳量が期待しているよりも非常に少ない。そのため、牧場主自身が周辺で採取している状況である。
要望：現在は生乳の販売がそれなりに見込めることから、牧場主としてはリスクを冒すことは難しく、GMCが飼料の転換に対する補償を行ってくれるのであれば、是非導入を行いたい。
対応：現在GMCが試験栽培しているソルガムの収穫後、1～2週間分の資料をサンプルとして提供。その結果を見て、牧場主は採用の是非を検討することとなった。
その他：同郡の牧場主リーダーの採用があれば、周辺牧場にも資料の採用が広がるであろう

販促地②：事業地Hti War Plaw近郊の肉牛牧場に、家畜飼料としてのソルガムの採用に向けて訪問
結果：現在、牧場主は牛肉の中国への輸出を行っているが、飼料の絶対量が足りておらず、本ソルガムの買取に対して非常に好意的である。
要望：本ソルガムの試験栽培が完了し、サンプルとして用意ができれば、飼料として採用することとなった。またその効果が高ければ、他の牧場にも紹介を行ってくれることとなった。

・ サテライト・プロジェクト

4. コミュニティー開発分野（地域開発とネットワーク構築）

4-1. 僻地開発活動細評

- ・ 実施村別情報

4-2. 僻地農業研修細評

4-2-1. 州政府との共同農業研修

4-2-2. 少数民族地域での農業研修

- ・ 実施研修内容

- ・ アンケート

4-3. シードバンク細評

4-4. 市場供給の基盤整備細評

4-4-1. マーケティングセンター整備

4-4-2. 共同販売ネットワーク試験導入

4-1. 僻地開発活動細評

【概要】

目的： 農業改良普及所で得られた成果を少数民族地域の末端である僻地の村々へと展開し、少数民族地域の住民の生活環境を向上させる

活動の枠組み： 過去に農業改良普及所で実施された本団体による長期農業研修の卒業生と連携し、環境配慮型農業の普及を行う。各村々から環境配慮型農業を実施したい農民10~20名を選定し、本活動のために割り当てられたコミュニティー農場にて、共同農業を実施する。

活動内容： 本活動は農業研修卒業生が長期研修で取得した知識や技術を、自身の故郷のコミュニティーで普及させる活動をサポート（フォローアップ）するものである。そのため基本的には彼らの普及活動の自主性を重視し、あくまで本団体の関与は活動の中で見えてきた課題や要望を解決する手助けに留めることとした。本団体農業専門家、専門家補佐、カウンターパートスタッフが定期的に実施地を訪問し、必要とされる（若しくは役に立つ）知識や技術を指導する単発的研修、年間栽培計画の作成に係るアドバイス、水質や土質検査、栽培に係る助言、モニタリング等を実施した。

採用手法： PDCAサイクル（事業活動管理手法： Plan計画、Do実行、Check評価、Action改善を繰り返し行うことで、継続的な改善を実施する）

実施手順： ①研修修了生が住民と共に年間栽培計画（Plan）を定め実行する（Do）
②定期的に農業専門家、専門家補佐が各地域を回り、土質調査や栽培指導（Check）を行い、農業栽培計画の修正や生産活動の改善（Action）を行う。
③これらを繰り返すことで、各地に適した農業生産を実施する。

【属性】

実施地数： 20村

参加者属性： 280名

【活動成果】

参加者の満足度： 質問項目で生活環境が向上したとの回答数が平均**80.3%**であった（アンケートによる）

◆指標外成果

Mutraw： こんにやく芋の加工技術を普及させ、自家製の加工こんにやくを地域の市場に流通させた

TaungOo： 事業地の3村が活動の交流を行い、情報交換や技術交流のネットワークを作ることができた

Doo Tha Htoo： フィッシュペースト等、農業以外での収入源を構築できた

Hpa-An： 生産者をグループ化し、共同で作業をさせることで、生産効率が向上した

Doo Pla Yar： 交通環境が比較的よく、8ヶ所の事業地のモニタリングが密にできたことにより、共同での農園設立や、情報交換を主とするネットワークが構築できた

Kler Lwee Htoo： 難民帰還民の村であり、直接農業指導を行うことで、今後の定住に向けての支援ができた

【見えてきた課題】

Mutraw： この地域は非常に深い山間部に位置しており、自給自足の生活色が強いことから、新しい活動に対しての怠惰な性格により活動の停滞が散発した

TaungOo： 低地にあることから、雨期の洪水被害が他地域より酷い状況であった

Doo Tha Htoo： 対象の村の土壌が農業に適しておらず、農業収入の向上が困難である

Hpa-An： Taung Oo同様、低地にあることから、雨期の洪水被害が他地域より酷い状況であった

Doo Pla Yar： 洪水被害に加え、家畜による獣害により農作物に被害が出た地域が多かった。そのため、家畜の管理方法を徹底する必要がある

Kler Lwee Htoo： 一部の事業地で、村人のモチベーションが低く、KAD地区代表の協力も得られず、事業停滞が続いた

◆実施村別活動情報

【詳細】

※村人数は各少数民族団体の持つ人口統計資料に基づく

州	タウンシップ	村名	支配地区分	協力卒業生	裨益者	活動情報※				
						備考（村の基礎情報、その他情報等）				
						①プロジェクトに割り当てられた共同農場の広さ、②栽培作物 ③研修の有無と参加人数（研修参加のため、裨益者数を越える場合もある） ④共同農業以外の活動、⑤成功例、⑥課題、⑦その他情報	①村の一般情報、②間接裨益者数、③場所			
Karen										
Mutraw	Day Baw Kaw	Black	Saw Sai Bo	16名	①事業専用農地はなし ②米、こんにゃく芋 ③5回の短期研修を実施 ④農場のコンサルティング活動、こんにゃく芋の加工活動を実施 ⑤自然農法による農業が定着した ⑥深刻な降雨により、水田が水没してしまった	①250家族1600名の非常に大きな村 ②周辺に1村 ③都市部から非常に遠く（Hpa-Pun市まで2時間）、交通環境も非常に悪い				
					Lay Pu Del	Black	Saw Min Poe	5名	①事業専用農地はなし ②米、カルダモン、ゴマ、こんにゃく芋 ③5回の短期研修を実施 ④農場のコンサルティング活動、こんにゃく芋の加工活動を実施 ⑤自然農法による農業が定着した ⑥農民参加者が時間にルーズで活動の遅延がよく発生した	①15家族50名の非常に小さな村 ②周辺に1村 ③高地の河岸に位置する
									Htee Shwe Ni	Black
	Taung Oo	Thar Yar Kone	Black	Paw Lay Bel	11名	①0.5Acreの農地 ②米、黒豆 ③8回の研修を実施 ④共同生産農場が整備された。また魚の養殖も実施 ⑤村内でのチームワークが向上し、以前より野菜の生産能力が向上した ⑥非常に深刻な降雨と洪水が発生した	①88家族480名の大きな村 ②周辺に1村 ③平地で農業に適している。しかし道が非常に悪く、雨期は通行に難あり。都市部より離れている ④土壌は非常に豊かであり、農業促進が非常によくできる場所である			

◆実施村別活動情報

【詳細】

※村人数は各少数民族団体の持つ人口統計資料に基づく

州	タウンシップ	村名	支配地区分	協力卒業生	裨益者	活動情報※
						備考（村の基礎情報、その他情報等）
	Taung Oo	Pyin Gan	Gray	Saw Eh New	9名	①事業専用農地はなし ②米、豆類、ピーナッツ ③3回の研修を実施 ④農地の訪問とコンサルティング ⑤自然農法の普及が一部促進された ⑥農薬の使用量が非常に高く、農業に対する興味が低い
						①300家族1800名の非常に大きな村 ②周辺に5村 ③ダート道で年から離れている。低地。道路交通は難あり ④豆類とピーナッツ栽培が盛ん
		Zee Phyu Kone	Gray	Saw Christ Sein Tun	3名	①事業専用農地はなし ②米、落花生 ③3回の短期研修を実施 ④農場の訪問とコンサルティング ⑤自然農法での栽培が促進された ⑥非常に深刻な降雨と洪水が発生した
						①210家族934名の非常に大きな村 ②周辺に4村 ③ダート道で都市部から離れている。低地
	Doo Tha Htoo	Ka Me Lae Lay	Black	Bala Kyaw Kaung	37名	①事業専用農地はなし ②米、ビターリーフ、野菜 ③5回の短期研修を実施 ④農場のコンサルティング活動だけでなく、村人たちと共同でフィッシュペーストの加工活動を実施 ⑤フィッシュペーストの収入が向上した ⑥農場土壌が栄養不足で、酸性のため農業に不適である
						①600家族2900名の非常に大きな村 ②周辺に7村 ③都市部から非常に遠く、雨期は車両でのアクセスが不可能となる
Hpa-An	Loh Baw	Black	Saw Pa Di	15名	①1Acreの農地 ②米、落花生、ゴマ、たばこの葉、野菜 ③9回の短期研修を実施 ④農場のコンサルティング、及び生産者のグループ化による生産効率の向上を図った ⑤自然農法により、生産量が増加し、収入の向上に至った ⑥深刻な降雨により、水田が水没した	
					①240家族2000名の大きな村 ②周辺に6村 ③低地で、河川に近い。またMyawaddyより約2時間の位置にある	

◆実施村別活動情報

【詳細】

※村人数は各少数民族団体の持つ人口統計資料に基づく

州	タウンシップ	村名	支配地区分	協力卒業生	裨益者	活動情報※
						備考（村の基礎情報、その他情報等）
Doo Plar Yar		Katoehla	Black	Saw Htet Kaung	5名	<ol style="list-style-type: none"> ① 事業専用農地はなし ② 米、ドリアン、ビターナッツ、ゴム ③ 2回の短期研修を実施 ④ 農場でのコンサルティング ⑤ 研修を実施したが、有機農業の定着には繋がらなかった ⑥ 非常に僻地にあり、連絡が困難であった。また農業普及員のモチベーションも低く、活動実施が困難であった
						<ol style="list-style-type: none"> ① 180家族900名の比較的大きな村 ② 周辺に3村 ③ 非常に僻地にある村で、アクセスが徒歩しかない
		Kyar Inn Kone	Black	Win Zaw	10名	<ol style="list-style-type: none"> ① 10Acreの農地 ② 葛、サツマイモ、米、サトウキビ ③ 4回の短期研修を実施 ④ 農場のコンサルティング活動の他、こんにゃく芋加工を実施 ⑤ 自然農法の技術を導入することで、収量が増加した ⑥ 深刻な降雨と洪水が発生した
						<ol style="list-style-type: none"> ① 100家族490名の大きな村 ② 周辺に2村 ③ Kawkareik市に近く、アクセスは良好
		Aw Pa Gyi	Gray	Kaw Tha Blay	14名	<ol style="list-style-type: none"> ① 事業専用農地はなし ② 米、サツマイモ、野菜 ③ 9回の短期研修を実施 ④ 農場のコンサルティング活動を実施 ⑤ ⑥ 農民の研修参加のための時間が不足しがちであった。またサツマイモを卸せるマーケットがなく、収入が安定しなかった
						<ol style="list-style-type: none"> ① 65家族235名の比較的大きな村 ② 周辺に3村 ③ Kawkareik市に近く、アクセスは良好。また農業用水源も良好の土地。
		Ywar Thit	Black	Htay Win Aung	7名	<ol style="list-style-type: none"> ① 1Acreの農地 ② 米、野菜 ③ 4回の短期研修を実施 ④ 共同農場での農業活動、及び参加農民のコンサルティング活動を実施 ⑤ 女性間の協力体制が強化された。またボカシの生産が非常に成功した ⑥ 洪水被害が深刻となり、また一部キノコの栽培が失敗した
						<ol style="list-style-type: none"> ① 130家族545名の大きな村 ② 周辺に1村 ③ Kaw Kareik氏に近く、アクセスは良好。またマーケットにもアクセスが良好
		Aw Ler	Black	Naw Di	7名	<ol style="list-style-type: none"> ① 事業専用農地はなし ② 米、ゴマ、ドリアン、ビターナッツ ③ 4回の短期研修を実施 ④ 農場のコンサルティング活動を実施 ⑤ 自然農法への関心が向上した ⑥ 害獣被害と洪水被害が大きかった
						<ol style="list-style-type: none"> ① 180家族896名の大きな村 ② 周辺に1村 ③ 川に近く、アクセスがよい。村人のほとんどが長期果樹栽培をしている

◆実施村別活動情報

【詳細】

※村人数は各少数民族団体の持つ人口統計資料に基づく

州	タウンシップ	村名	支配地区分	協力卒業生	裨益者	活動情報※				
						備考（村の基礎情報、その他情報等）				
Doo Plar Yar	Htee Kay	Gray	Saw Eh Dah	8名	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業専用農地はなし ② 米、ゴマ、カシューナッツ、黒コショウ、シトラス ③ 1回の短期研修を実施 ④ 各農家へのコンサルティング活動を実施し、また参加者が共同で生産するバナナ農園を開設した ⑤ ボカシを使用することで、米の生産量が向上した ⑥ 地元の市場価格が不安定であった 	<ul style="list-style-type: none"> ① 30家族198名の村 ② 周辺に1村 ③ 主要道路の近くで、良好な交通 				
					Noh Tha Kaw	Black	Saw Marsha Htoo	61名	<ul style="list-style-type: none"> ① 3Acreの農地 ② 米、シトラス、レモン、天然ゴム、ビターナッツ、黒コショウ ③ 10回の短期研修を実施 ④ 農場のコンサルティング活動を実施。また共同農場でバナナ、ターメリック、こんにゃく芋の生産を行った ⑤ 共同農場を運営することで、新しい作物の栽培を挑戦することができた。マーケット開拓が完了すれば、農民が作物の導入を検討できる ⑥ マーケットから遠いことにより、原材料での販売に困難がある 	<ul style="list-style-type: none"> ① 396家族2390名の非常に大きな村 ② 周辺に5村 ③ 平野にあり、道路は整備されている
									Naung Nime	Black
	Kler Lwee Htoo	Law Mu Pel	Gray	Saw Shan Thay Oo	22名	<ul style="list-style-type: none"> ① 1Acreの農地 ② 落花生、米 ③ 6回のスポット研修を実施 ④ ⑤ 村内での協力関係が強化され、チーム精神が醸成された。研修内容が村のニーズに非常に合致していた ⑥ 雨季の強雨、洪水に見舞われた。また村人が時間にルーズであり、リーダーとのコミュニケーションのミスも度々見られた 	<ul style="list-style-type: none"> ① 98家族320名の村 ② 周辺には3村 ③ 町から遠く、ダート道のみ。丘と谷が混在した地域で、村人の新たな移住がある地域である。乾季には水不足となる 			

◆実施村別活動情報

【詳細】

※村人数は各少数民族団体の持つ人口統計資料に基づく

州	タウンシップ	村名	支配地区分	協力卒業生	裨益者	活動情報※
						備考（村の基礎情報、その他情報等）
Kler Lwee Htoo		Sah-Lae	Gray	Nay Ye Soe	10名	①専用の土地はなし ②落花生、米 ③3回のスポット研修を実施 ④農地訪問とフォローアップ活動 ⑤村中でシステム化された農業実習を実施 ⑥非常にひどい降雨と洪水が発生した。ボカシ肥料を使つての落花生の栽培を実施したが失敗（葉の成長はよかったが、落花生の生産量は伸びず） ①50家族280名の村 ②周辺には2村 ③Kyauk Kyi市に近く、Sah Lae入り江が水源としてある
		Aung Soe Moe	Gray	Naw Mercyrt	5名	①事業専用農地なし ②ビターナッツ、ドリアン、米 ③3回のスポット研修を実施 ④農地のコンサルティング、及びフォローアップ活動 ⑤自然農法についての理解が進み、ボカシを使った土壌改良が実施された ⑥農民の活動参加に対して、時間にルーズな部分があった ①104家族324名の比較的大きな村 ②周辺には2村 ③もともと内戦の発生地で、村人は都市部に移住していた。全土停戦以降、村人はこの村に帰還した。都市部からは非常に離れた僻地である
		Kwen Char	Gray	Naw Moo Zar	16名	①3Acreの農地 ②米、黒豆、ドリアン ③4回の短期研修を実施 ④農地訪問とコンサルティング ⑤農民に対し、自然農法の指導を実施 ⑥町に近く、化学肥料の使用量が非常に多い ①75家族326名の比較的大きな村 ②周辺には2村 ③都市部に近く、高地農作物が主な収入源である。道路は非常にアクセス良好
合計		20村		280名		

4-2. 僻地農業研修細評

4-2-1. 州政府との共同農業研修

【概要】

目的： 停戦合意後、州政府とEAOが国民和解に向けて互いに連携をしていくために、州政府と幣団体とで共同で農業研修を実施する。少数民族地域で実施したり、少数民族の研修生を招聘することで、草の根での連携関係を醸成する

活動の枠組み： ミャンマー行政側カウンターパートであるカレン州農業畜産灌漑省の農業局がEAOに農業研修実施の声をかけを行い、要望のあった村に農業局職員、及び幣団体職員で訪問し、行政サービス（農業研修）を実施した。

【研修属性】

実施回数： 合計17回
カレン州農業畜産灌漑省農業局のモデル農場での研修：8回
少数民族地域での訪問研修：8回

参加者人数： 916名

【活動成果】

州政府・EAOの連携： 本活動では4ヶ所のKNU支配地にて、初めて農業研修が実施された。なお「Do No Harm」の原則の元、農業局長とKNU地区リーダーとの事前調整の元、実現に至っている。

他部署からの視察： 本地区での行政サービスの提供は初のケースであり、カレン州政府の他部署からも今後の施策の参考にするため、職員が視察に訪れた。

4-2-2. 少数民族地域での農業研修

【概要】

目的： 国際支援や開発の恩恵を非常に受けにくい少数民族地域にて、半自給自足生活をしている少数民族住民に対し、持続可能な農業研修を実施する。農作物収量を増やしたり、肥料等の支出を減らすことで、相対的な収入向上を目指す

活動の枠組み： Nyaliathaで過去に実施した6か月長期研修の修了生と連携し、彼らの故郷である少数民族地域での農業活動を実施した。幣団体農業専門家や専門家補佐も定期的に現地訪問することで、各地に必要な研修ニーズを精査し、実施する形となった

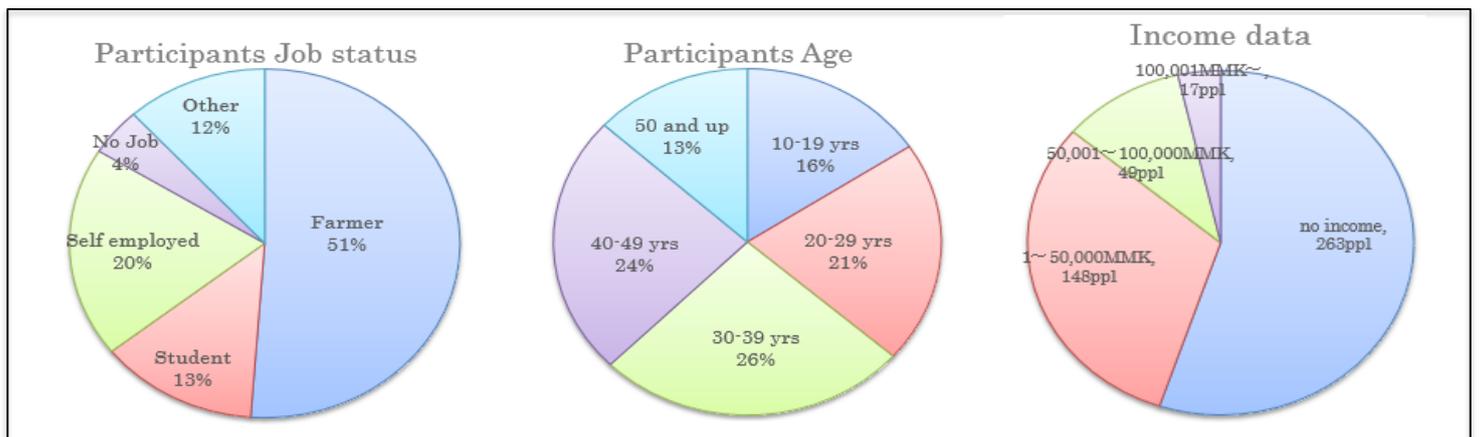
【研修属性】

実施回数： 合計68回

参加者人数： 853名

【アンケート属性】

参加者属性： (477名、男性：258名、女性：219名)



【活動成果】

研修の満足度： 質問項目で生活環境が向上したとの回答数が平均**88.7%**であった（アンケートによる）

4-2-1. 州政府との共同農業研修

◆List of DoA training

No.	Month	title	Participants	Noted information
1	Jan	Climate Smart Agriculture Training Program	31	Government staffs from the Department of Agriculture and Department of Rural Development, Trainers were invited from MOALI, Nay PyiTaw
2	Feb	Demonstration plots for EM Bokashi and spot training for local people	32	Local farmers from the different villages around the Kamakapo seed farms, Hpa-an Township, Trainers were invited from the DOA, Kayin
3	Feb	Organic agriculture and Myanmar GAP Protocol (Good Agriculture Practices) Workshop Program	62	Staffs from the Department of Agriculture in the different areas of Kayin State, Trainer was invited from MOALI, Nay Pyi Taw
4	Mar	Demonstration plots for Dochakin and EM Bokashi and spot training for local people	32	Local farmers from the different villages around the Kamakapo seed farms, Hpa-an Township, Trainers were invited from the DOA, Kayin
5	Apr	Rubber Maintenance and EM compost in Tharmanya Village	30	Local farmers from the different villages around the Tharmanya Village, Hpa-an Township, Trainers were invited from the DOA, Kayin
6	Apr	Cultural Practices of Rice Production and Demonstration Plot in Kayin State	51	Local farmers from the different villages around the Warsu Village, Hpa-an Township, Trainers were invited from the DOA, Kayin
7	May	Seed Industries in Kawmanntalai Village in Hpa-an Townships	121	Local farmers from the different villages around the Kawmanntalai Village, Hpa-an Township, Trainers were invited from the MOALI, Nay PyiTaw and DOA, Kayin
8	May	Rubber Maintenance and moonsoon fertilizer application in Kayin State	80	Local farmers from the different villages around the Pharkya village, Kawkareik Township, Trainers were invited from the DOA, Kayin
9	May	Seed Industries Training Program in Hti War Plaw	43	Rice seeds supplied from Nay Pyi Taw, Trainer were invited from MoALI-NPW, Trainers from the MOALI, Nay PyiTaw and DOA, Kayin State.
10	Jun	High Yield Seed Production in Shanywarthit Town in Hlaingbwe Township	74	Workshop which held in KNU area, the trainees were attended from the Mawkee Village, Sharywarthit Town, Hlaingbwe Township, Trainers were invited from the DOA, Kayin
11	Jul	Experiment of Biochar treatments and its effect on rice crops in Kamawkapo Seed-Farm	8	Experiment which demonstrated at Kamawkapo seed farm
12	Aug	Integrated Pest Management Practices at Tarbaung Villages, Pyingkyone Town in Hlaingbwe Township	40	Workshop which held in DOA, Office at Hpa-an Township, the trainer was expert in agriculture who was from outside area.
13	Sep	Discussion of Climate Resilience and Sustainable Agriculture in Kyauttalone Village, Hpa-an Township	98	local farmers were attended from the different areas around Kyauttalone Village, Hpa-an Township, the speakers were invited from the DOA, Kayin State
14	Sep	Discussion of Good Agriculture Practices and the Demonstration Plot of post monsoon fertilizer application in Rubber plantation in Pulay Village, Kyarinnseikgyi Township	84	which was held in KNU areas, the trainers were invited form the DOA, Kayin State.
15	Oct	Discussion on the Nutritional Vegetables Production at Yebu Village in Pying Kyone Town, Hlaingbwe Township	50	Workshop which held in KNU area, only 37 attendees were collected by using questionaire, the speakers were from the DOA, Kayin State
16	Nov	Discussion on the Sugarcane Production in EAOs Area, Kawkareik Township	50	will be collected the survey questionnaires, the speakers will be invited from the DOA, Kayin State
17	Nov	Training of Trainers (TOT) Program at DOA Office, Hpa-an Township	30	DOA staffs will attend and the speakers are from the DOA, Kayin, the survey questionnaire will be collected and it also tour around the village to collect data

4-2-2. 少数民族地域での農業研修

◆List of farmer training for regional development

No	District name	Village name	Period		The num of participants	Trainer name	Training content	Details of teaching content	
1	Hpa-An	Loh Baw	1-Apr-18	~ 4-Apr-18	4	13 ppl	Saw Pa Di	Soil conservation	Vicious circle of chemical agriculture, Bokashi, IMO, TMO, Farm visit and planing with farmer
2	Doo Plar Yar	Noh Ta Kaw	24-Apr-18	~ 24-Apr-18	1	14 ppl	Saw Win Zaw	Soil conservation	Vicious circle of chemical Agriculture, Fertilizer, Recircle, etc.
3	Doo Tha Htoo	Ka Mala Lay	1-Apr-18	~ 3-Apr-18	3	35 ppl	Bala Kyaw Kaw & Tun Zaw Win	Soil conservation	Vicious circle of chemical agriculture, Ecosystem and Nutrient
4	Doo Plar Yar	Naung Nine	25-Apr-18	~ 26-Apr-18	2	20 ppl	Bala Kyaw Kaw & Tun Zaw Win	Soil conservation	Vicious circle of chemical agriculture, Ecosystem and Nutrient, IMO, TMO (Theory)
5	Doo Plar Yar	Ka Toe Hta	24-Apr-18	~ 26-Apr-18	3	4 ppl	Thet Kaw	Soil conservation	Vicious circle of chemical agriculture, ecosystem, IMO, TMO, Plant propergation, Dad juice, mom juice, Bokashi
6	Doo Plar Yar	Aw Pa	3-May-18	~ 3-May-18	1	13 ppl	Kaw Tha Blay & Win Zaw, Tun Zaw Win		Ecosystem and Nutirent 2 days training
7	Kler Lwee Htoo	Law Mu Thaw	4-Apr-08	~ 4-Apr-08	1	22 ppl	Nay Yae Soe, Naw Moo Zar, Mercury, San Thit Oo	Soil Conservation	Vicious circle of chemical agriculture, Ecosystem, Soi fertilization, Bokashi, Dad juice and mom juice
8	Kler Lwee Htoo	Sha Lae	3-Apr-18	~ 3-Apr-18	1	17 ppl	Nay Yae Soe, Naw Moo Zar, Mercury, San Thit Oo	Soil conservation	Vicious circle of chemical agriculture, Ecosystem, Soi fertilization, Bokashi, Dad juice and mom juice
9	Kler Lwee Htoo	Aung Soe Moe	5-Apr-18	~ 5-Apr-18	1	3 ppl	Nay Yae Soe, Naw Moo Zar, Mercury, San Thit Oo	Soil conservation	Vicious circle of chemical agriculture, Ecosystem, Soi fertilization, Bokashi, Dad juice and mom juice
10	Kler Lwee Htoo	Gwen Char	2-Apr-18	~ 2-Apr-18	1	16 ppl	Naw Moo Zar, Nay Yae Soe, Mercury, San Thit Oo	Soil conservation	IMO, TMO, Compost, Dad juice, Mom juice, Bokashi
11	Taung Oo	Thar Yar Gone	15-Apr-18	~ 15-Apr-18	1	9 ppl	Paw Lay Bel	Soil conservation	Vicious circle of chemical agriculture, Bokashi.
12	Taung Oo	Pyae Gar/Toe Lwee Wah	13-Apr-18	~ 13-Apr-18	1	9 ppl	Eh New	Soil conservation	Bokashi
13	Taung Oo	Zee Pyu Gone	16-Apr-18	~ 16-Apr-18	1	4 ppl	Chris Sein Tun		Bokashi
14	Mutraw	Lay Pu Del	29-Apr-18	~ 29-Apr-18	1	5 ppl	Min Poe	Soil conservation	Vicious circle of chemical agricultural, Ecosystem, Nutrient circle
15	Doo Plar Yar	Kyar Inn	23-Apr-18	~ 28-Apr-18	6	36 ppl	March Htoo	Soil conservation, Pest management, cropping system, farm design	IMO, TMO, Bokashi, Dad juice, Mom Juice, Vicious circle of chemical agriculture, Ecosystem, Pesticide
16	Doo Plar Yar	Aw Ler	27-Apr-18	~ 27-Apr-18	1	7 ppl	Naw Dee	Soil conservation	Vicious circle of chemical agriculture, ecosystem, Bokashi
17	Doo Plar Yar	Ywa Thit	30-Apr-18	~ 1-May-18	2	7 ppl	Htay Win Aung	Soil conservation	Bokashi, IMO, TMO, Dad Juice and Mom Juice
18	Doo Plar Yar	Ka Ma Lae Lay	8-May-18	~ 10-May-18	3	9 ppl	Saw Bala Kyaw Kaung	Farmer training	IMO, TMO, Bokashi, Dad juice, Mom juice, pesticide
19	Doo Plar Yar	Naung Nine	14-May-18	~ 14-May-18	1	19 ppl	Saw Win Zaw	Farmer training	Dad juice, mom juice, pesticide
20	Doo Plar Yar	Aug Pa	15-May-18	~ 16-May-18	2	13 ppl	Saw Kaw Tha Blay	Farmer training	Bokashi, pesticide, dad juice, mom juice, IMO, TMO
21	Doo Plar Yar	Htee Kay	5-May-18	~ 8-May-18	4	15 ppl	Saw Eh Dah	Farmer Training	Vicious circle of chemical agriculture, IMO, TMO, Bokashi, Principle of ecological farming

4-2-2. 少数民族地域での農業研修

◆List of farmer training for regional development

No	District name	Village name	Period	The num of participants	Trainer name	Training content	Details of teaching content	
22	Doo Plar Yar	Anug Ler	8-May-18 ~ 8-May-18	1	7 ppl	Saw Naw Dee	Farmer training	Dad juice, mom juice (Practical)
23	Taung Oo	<small>Thu Lwe Wah& Pyu Gar</small>	17-May-18 ~ 17-May-18	1	10 ppl	Saw Eh New	Farmer training	pesticide
24	Taung Oo	Zee Pyu Gone	15-May-18 ~ 15-May-18	1	4 ppl	Saw Christ Zin Tun	Farmer training	pesticide
25	Taung Oo	Thar Yar Gone	11-May-18 ~ 11-May-18	1	9 ppl	Naw Paw Lay Bae	Farmer training	IMO, TMO, Principle of Agriculture
26	Kler lwee htoo	Sha Lae	7-May-18 ~ 7-May-18	1	17 ppl	Saw Nay Yae Soe	Farmer training	Dad juice, mom juice (Practical)
27	Kler lwee htoo	Aung Soe Moe	18-May-18 ~ 18-May-18	1	5 ppl	Naw Mercury	farmer training	TMO, MOM and Dad juice
28	Kler lwee htoo	Gwen Char	5-May-18 ~ 6-May-18	2	11 ppl	Naw Moo Zar	Farmer training	Compost, TMO, IMO 1-2, Pesticide, mom juice (Practical training)
29	Kler lwee htoo	<small>Law Mu Poi & Law Mu Thaw</small>	14-May-18 ~ 14-May-18	1	22 ppl	Saw Shan Thay Oo	farmer training	Dad juice/mom juice (practical)
30	Mutraw	Day Baw Kaw	1-May-18 ~ 3-May-18	3	5 ppl	Saw Sai Bo	Farmer training	Vicious circle of chemical agriculture, IMO, Bokashi, Dad/Mom juice, pesticide
31	Taung Oo	Thar Yar Gone	18-Jun-18 ~ 20-Jun-18	3	11 ppl	Paw Lay Bel	Pest management and processing	Herbel pesticide, Mango processing
32	Doo Plar Yar	Naung Nine	7-Jun-18 ~ 7-Jun-18	1	14 ppl	Tun Zaw Win	Hygine product	Soap liquid
33	Hpa-An	Loh Baw	10-Jun-18 ~ 10-Jun-18	1	10 ppl	Saw Pa Di	Pest management	Bio pesticide
34	Mutraw	Dai Baw Kaw	18-Jun-18 ~ 18-Jun-18	1	3 ppl	Saw Sai Bo	Plant propagation	grafting, budding
35	Mutraw	<small>New Generation School</small>	21-Jun-18 ~ 23-Jun-18	3	34 ppl	Mr.Komain, Eh Doh, Sai Bo, Htoo Wah, Ye Htoo Hel	Soil conservation, cropping system, ecosystem, Pest management	IMO, TMO, PMO, Bokashi, Mom Juice, Dad juice, compost, herbel pestiside
36	Mutraw	Day Baw Kaw	17-Jul-18 ~ 17-Jul-18	1	6 ppl	Eh Doh, Sai Bo	Soil fertilization	Dad Juice, Mom Juice, Bokashi
37	Mutraw	Law Pu Del	15-Jul-18 ~ 15-Jul-18	1	5 ppl	Yin Htoo Hel, Eh Doh, Min Poe	Pest Management	Dad juice, Mom Juice, Herbel pesticide
38	Mutraw	<small>Thu Thu Poi & New Generation School</small>	9-Jul-18 ~ 15-Jul-18	7	32 ppl	Eh Doh, Yin Htoo Hel, Min Poe	Soil fertilization	Compost, compost tea, N.P.K
39	Kler Lwee Htoo	Aung Soe Moe	9-Jul-18 ~ 10-Jul-18	2	31 ppl	Mercury	Plant propagation, pest management	IMO 1-2, Dad juice, mom juice, herbel pesticide, grafting
40	Doo Plar Yar	Kamalaelay	12-Jul-18 ~ 12-Jul-18	1	9 ppl	Bala Kyaw Kaung	Hygine product	Soap liquid
41	Doo Plar Yar	Ywar Thit	8-Aug-18 ~ 8-Aug-18	1	6 ppl	Htay Win Aung	Hygine Product	Soap liquid processing
42	Doo Plar Yar	K' Toe Hta	10-Aug-18 ~ 10-Aug-18	1	5 ppl	Thet Kaung	Hygine Product	Soap liquid processing
43	Doo Plar Yar	Aw Pa	13-Aug-18 ~ 13-Aug-18	1	12 ppl	Kaw Tha Blay	Hygine Product	Soap liquid processing
44	Doo Plar Yar	Ywar Thit	27-Aug-18 ~ 28-Aug-18	2	10 ppl	Sait Thu Aung	Mushroom cultivation training	Theory and practical of mushroom cultivation
45	Kler Lwee Htoo	Sha Lae	17-Aug-18 ~ 17-Aug-18	1	8 ppl	Nay Yae Soe	Fertilization, Compost	Bokashi, TMO
46	Hpa-An	Loh Baw	27-Aug-18 ~ 27-Aug-18	1	6 ppl	Pa Di	Plant propagation, sesame paste processing training	Budding, grafting
47	Mutraw	Day Baw Kaw	19-Aug-18 ~ 19-Aug-18	1	17 ppl	Sai Bo, Eh Doh Htoo	Soil fertilization, Hygine product	Bokashi, Compost, soap liquid
48	Mutraw	Lay Pu Del	16-Aug-18 ~ 17-Aug-18	2	6 ppl	Min Poe, Eh Doh Htoo	Hygine product, Wa Oo cultivation and harvesting training, compost tea	
49	Mutraw	<small>New Generation school</small>	14-Aug-18 ~ 14-Aug-18	1	30 ppl	Min Poe, Eh Doh Htoo	Hygine product,	soap liquid, waste management, review lesson
50	Mutraw	Htee Shwe Nee	10-Aug-18 ~ 10-Aug-18	1	6 ppl	Kyaw P' wa, Eh Doh Htoo	Eco farming	Ecosystem, vicious circl of chemical agriculture
51	Doo Plar Yar	Naung Nine	20-Sep-18 ~ 22-Sep-18	3	17 ppl	Tun Zaw Win, Win Zaw, Eh Doh, Toe Lwee, Sit Thu Aung	Farmer training	straw mushroom, sawdust mushroom

4-2-2. 少数民族地域での農業研修

◆List of farmer training for regional development

No	District name	Village name	Period	The num of participants	Trainer name	Training content	Details of teaching content	
52	Doo Plar Yar	Noh Ta Kaw	15-Sep-18 ~ 17-Sep-18	3	12 ppl	Mar Sha Htoo	Farmer training	Hygine product, dracodama, Wa Oo processing, Bokashi
53	Kler Lwee Htoo	Kwen Chan	12-Sep-18 ~ 15-Sep-18	4	4 ppl	Naw Moo Zar	Farmer training	Mom Juice, Dad Juice, hygine product
54	Kler Lwee Htoo	Law Mu Thaw	25-Sep-18 ~ 25-Sep-18	1	10 ppl	San Thit Oo	Farmer training	plant propagation
55	Kler Lwee Htoo	Aung Soe Moe	12-Sep-18 ~ 12-Sep-18	1	4 ppl	Mercury	Farmer training	Compost
56	Taung Oo	Pyae Gar	8-Sep-18 ~ 9-Sep-18	2	6 ppl	Eh New	Processing training	Fried banana, dad juice, mom juice, hygine product
57	Taung Oo	Tha Yar Gone	5-Sep-18 ~ 5-Sep-18	1	7 ppl	Paw Lay Bel	Processing training	natural balm cream
58	Taung Oo	Zee Pyr Gone	15-Sep-18 ~ 16-Sep-18	2	34 ppl	Eh Doh, Toe Lwee, Sit Thu Aung	farmer training	Straw mushroom, sawdust mushroom
59	Mutraw	Lay Pu Del	8-Sep-18 ~ 9-Sep-18	2	10 ppl	Kyaw Pya, Eh Doh	Farmer training	Egg hormone
60	Mutraw	Htee Shwe Nee	11-Sep-18 ~ 12-Sep-18	2	6 ppl	Kyaw Pya, Eh Doh	Farmer training	IMO, Bokashi, Egg hormone, cropping system
61	Mutraw	Day Baw Kaw	14-Sep-18 ~ 14-Sep-18	1	14 ppl	Sai Bo	Farmer training	Cropping system
62	Mutraw	Htee Shwe Nee	17-Oct-18 ~ 18-Oct-18	2	5 ppl	Kyaw Pwa, Saw Eh Doh	Farmer Training	Mushroom, Hygine product, plant propagation
63	Mutraw	Lay Pu Del	19-Oct-18 ~ 20-Oct-18	2	5 ppl	Sai Bo, Saw Eh Doh	Farmer Training	Mushroom, Hygine product, plant propagation
64	Mutraw	New Generation	22-Oct-18 ~ 23-Oct-18	2	11 ppl	Kyaw Pwa, Saw Eh Doh	Farmer training	Mushroom, Hygine product, plant propagation
65	Hpa-An	Loh Baw	12-Nov-18 ~ 13-Nov-18	2	21 ppl	Keh Doh Htoo, Thedren, Maung Ku, Pa Di, Sha Ku Nu	Mushroom cultivation training	Oyster mushroom, button mushroom
66	Hpa-An	Loh Baw	14-Nov-18 ~ 14-Nov-18	1	18 ppl	Maung Ku	Solar and Battery maintainance training	Basic knowledge of battery and solar maintainance system, Refill acid battery.
67	Doo Plar Yar	Noh Ta Kaw	14-Nov-18 ~ 15-Nov-18	2	12 ppl	Thalaypaw, Marshahtoo	Processing training	Citrus processing training
68	Mutraw	Htee Shwe Nee	13-Nov-18 ~ 14-Nov-18	2	16 ppl	Lay Say, Htoo Wah, Yae Htoo Hel, Komain	Workshop	Community Market worshop

集計	研修回数	参加者数
Mutraw	18	216
Taung Oo	10	103
Doo Tha Htoo	1	35
Hpa-An	5	68
Doo Plar Yar	21	261
Kler Lwee Htoo	13	170
Grand Total	68	853

4-2-2. 少数民族地域での農業研修

◆僻地開発アンケート

- ・ 僻地開発参加者に対し、5段階のスコアリング形式のアンケートを実施
- ・ 全般、指導内容、指導者スキル、地域間連携、収入向上についての満足度を質問した
- ・ アンケート対象者への評価だけでなく、彼らによる事業活動の評価をおこなった
- ・ アンケート対象者は、僻地開発活動（サテライト・プロジェクト）にて活動用に割り当てられた共同農場にて、一緒に活動を実施した参加者477名とする

【サンプル数】 計：477名（農業研修参加者総数853名、サンプル設定率：56%）

州／質問分野	Mutraw	TaungOo	Hpa-An	Dooplaya	Kler Lwee Htoo	合計
サンプル数	106	45	32	215	79	477

【質問内容】

質問分野	質問
	Q1.幣団体の農村開発支援事業について、全体的にどの程度満足しましたか？（生活向上の観点から）
	Q2.農業指導内容（農業支援内容）について、どの程度満足しましたか？
	Q3.指導者（幣団体スタッフ）スキルについて、どの程度満足しましたか？
	Q4.地域間の連携（ネットワーク構築、相互扶助）について、どの程度満足しましたか？
	Q5.幣団体の農村開発支援事業を通しての収入向上について、どの程度満足しましたか？

※質問は5段階評価で実施（評価5：非常に満足、4：満足、3：どちらともいえない、2：不満、1：非常に不満）

【結果】

- ・ 僻地開発参加者の回答を集計した結果、全ての項目で8割前後が満足したと回答した

質問	構成比					満足の割合 (選択肢4～5)
	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	
Q1	4.2%	1.9%	13.6%	41.5%	38.8%	80.3%
Q2	0.0%	0.6%	10.7%	46.8%	41.9%	88.7%
Q3	0.0%	1.9%	9.2%	43.2%	45.7%	88.9%
Q4	0.2%	1.3%	17.6%	45.1%	35.8%	80.9%
Q5	1.3%	6.3%	17.4%	39.4%	35.6%	75.1%

4-3. シードバンク細評

【概要】

目的： ①農畜産資本の提供、②災害時の緊急保険、③難民帰還者への初期農業資本の提供

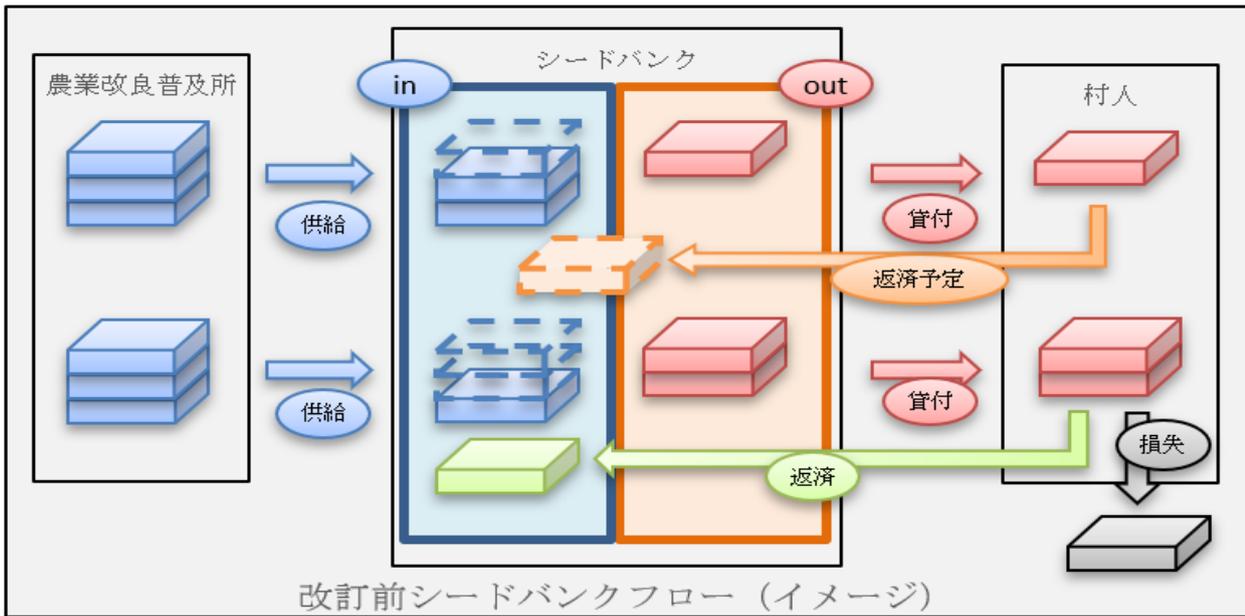
運用方法： 貸付をコミュニティへの連帯責任とし、年利10%の利息を元本に上乗せする返還義務を課す
 (改訂前) ※ミャンマーで一般的な仲介業者による利息(年利60~180%)よりも格段によい条件

運用方法： さのこと家畜(鶏)を難民帰還民に安価で販売する形での制度変更を行った

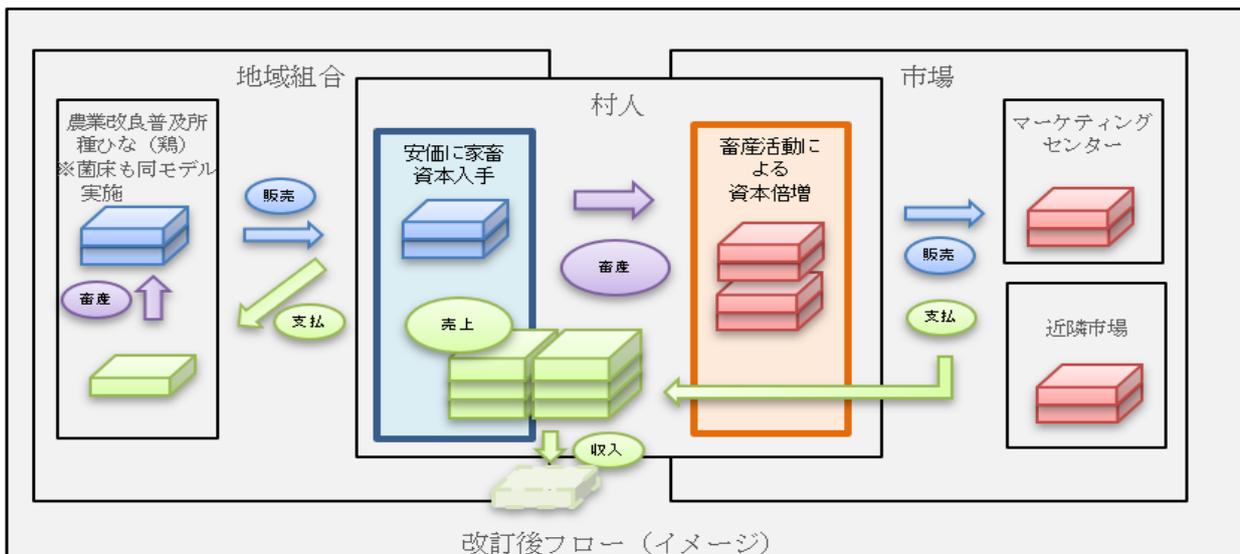
(改訂後) ※裨益者の返済意識の低さや管理するカウンターパートの管理能力が伴っておらず、貸付制度での実施には時期が早すぎる、環境が整えられないとの判断し、提供段階で予め資本を回収する販売形態とした

【制度設計】

改訂前：



改訂後：



4-4.市場供給の基盤整備細評

4-4-1. マーケティングセンター整備

【概要】

目的：本事業で農業技術を普及している地域では、住民は個別にマーケットにアクセスできず、また十分な販売知識を有さない場合が多い。そこで地域間で連携し、農作物を市場に供給できる基盤（拠点とネットワーク）の整備を行う。

活動の枠組み：当初、カレン州パアン地区での整備を想定していたが、カレン州レーケーコー地区に立地変更し、周辺住民や農民が共同で利用できるマーケティングセンターを整備した。

センター建設費：177,420 THB

立地の変更経緯：カレン農業省から推奨されたカレン州パアン地区では、"交通の拠点（アジアハイウェイ上）に農民が利用できる販売場所を整備することで、外部の人間と農民の販売機会を作ること"が期待された。だが、カレン農業省と土地所有者の間で土地貸出契約内容が上手くまとまらず、やむを得ず変更の必要が生じた。

代替地選定理由：カレン州レーケーコー地区は、レーケーコー農業団体より当センターの目的に合致した施設整備の要望を受け、カレン農業省を含むワーキンググループメンバーの合意のもと立地変更した。レーケーコー地区では、モデルファームの運営支援を行っているため、モデルファームで収穫される作物を出品することが可能となり、本事業で支援している農民の所得創出を期待できる。

- センター機能：
- ①地区住民の生産した農作物の集積施設（販売所を兼ねる）
 - ②農作物の加工機器の提供（住民が自身で加工ができる）
 - ③情報交換施設・研修提供施設として、周辺地域一帯の住民が自身の農作物をマーケットに繋げることが可能となり、また加工により付加価値を付けたり、マーケティングの知識取得や市場情報の共有といった収入向上のための機会を得る
 - ④作付実験や商品化等、農業改良普及所で生まれた成果をこのマーケティングセンターを通して地域に展開することで、地域への成果の還元繋げる

Scene of construction			
	Coordination meeting	Building	Completion of construction

4-4-2. 共同販売ネットワークの構築

【概要】

目的：マーケティングセンターを整備することで、周辺地域一帯の住民が自身の農作物をマーケットに繋げることが可能となり、また加工により付加価値を付けたり、マーケティングの知識取得や市場情報の共有といった収入向上のための機会を得ることができる。また作付実験や商品化等、農業改良普及所で生まれた成果をこのマーケティングセンターを通して地域に展開することで、地域への成果の還元も可能となる。

活動の枠組み：カレン州政府と少数民族の共同開発商品を製品化

Scene to be used			
	Collaborate logo for product	Promotion by MRTV (Myanmar Radio and Television)	Package of Bokashi fertilizer Product